

三商同窓会報



No.52

平成25年7月1日発行

ホームページアドレス

<http://tcsaa.jp/>

同窓会結成80周年
ホームページ開設 記念号



平成24年10月6日 校歌祭



第二十回 東京校歌祭は 開催されました。

平成二十四年十月六日(土)爽やかな秋晴れの下、「第二十回 東京校歌祭」が日比谷公会堂にて開催されました。(表紙ご参照のこと)

三商同窓会の参加は平成九年の第五回からです。毎年百名を目標に参加者を募っておりますが、今回も七十名(他校よりは多い方です)でした。

節目の第二十回に向けての東京校歌祭実行委員会は、第十九回終了と同時に準備に入り、ポスター・校歌祭プログラムのデザイン作成・会場への観客誘致・マスコミの融引等々、手弁当で精力的に会議を重ねられました。

東京校歌振興会、東京校歌祭実行委員会の皆様に敬意を表し、ご慰労を申し上げます。

まえがき



同窓会会長
岩瀬 和子

同窓会結成八十周年

おめでとうございます。

心よりお喜び申し上げます。

諸先輩方から受け継がれた
母校愛のたまものと思えます。

永い歴史と伝統の中に
身をおけたこと

大変うれしく思います。

この先九十周年、
百周年を迎えられますよう
願っています。



三商同窓会報

No.52

平成25年7月1日発行

CONTENTS

1	まえがき	同窓会会長 岩瀬 和子
2	ご挨拶	校長 浦部 利明
3	総会報告・新年会報告	
5	各期活動報告	
8	同期会開催のご案内	
9	同窓会結成八十周年祝賀会を開催します。	
10	定時評議員会報告	
12	古暮正雄先生と三史会の歩み「慈厳の心」で生涯を全う	第26期 栗原 啓 右
17	同窓会結成80周年記念事業「三商同窓会ホームページ」開設他について	
19	同窓会活動、特にホームページ開設準備仲間へ感謝「おかげです」「有難う」の毎日	第29期 大川 幹 雄
22	同窓生交流の場「続バンザイ三商掲示板」	第33期 三井田 充 身
22	ホームページを活かし同窓会の開催へ	第67期 秋 元 真 一
23	私の履歴書シリーズ 三商の思い出	第19期 細 田 安 治
27	三商同窓会八十年の航跡	第26期 古 田 勝 一
30	エッセイ	
	八十八年を生きて	第10期 荻 野 文 雄
31	都立三商伝統の教え『おいあくま』について	第19期 木 戸 隆 吉
32	スパコン世界一奪還へ	第22期 荻 野 弘 康
33	裁判員を体験して	第28期 田 端 彰
34	卒業文集復刻版を発行する！	第28期 吉 野 和 敏
34	自給自足のために	第29期 亀 田 光 昭
35	八十期	第80期 安 藤 沙也香
36	氷園旅行会 初島クラブ 旅行記	第19期 岡 野 静 夫
37	「あの夏の合宿」と「2004年の夏」	第33期 佐久間 保 人
40	広告	

ご挨拶



校長 浦部利明

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、本年は同窓会創立八十周年という記念すべき年にあたり、そのような時期に第三商業高校の校長の任にあることを心から光栄に存じます。さて、今回は皆様の母校である第三商業高校の近況について、簡単ではありますが以下のようにご報告いたします。

(1) 校舎の改築及び改修工事について

現在の校舎のうち、実習棟は昭和四十四年、校舎棟、体育館棟、プール棟は昭和五十七年に完成しました。当時は斬新なデザインの白亜の校舎でしたが、その後、年月とともに傷みが進んだことから、実習棟は改築、校舎棟、体育館棟、プール棟は改修を行うことになりました。昨年の九月から工事が始まり、竣工の時期については、体育館棟が平成今年の八月、実習棟と校舎棟、プール棟が平成二十六年四月を予定しています。中でも豊洲橋に面して新築される四階建ての実習棟の最上階には、写真のようにモダンな雰囲気のおフィスを模した総合実践室がつくられ、東京証券取引所のように階上の廊下からガラス越しに眺めることができるのが特徴です。生徒たちは現在、校門付近の校庭に建てられたし字型の仮設校舎で授業を受けています。そのため校庭は従前の約七十%の面積しか確保できず、さらに工事中の体育館が使用できないため、体育の授業や部活動には大きな制約があります。特に、バスケッ

トボール部、バレーボール部、バドミントン部、ダンス部の生徒たちは、近隣の東京海洋大学の体育館や深川スポーツセンターなどの施設を転々と移動しながら練習に打ち込んでいます。生徒・教職員ともに、改築及び改修工事の完了が待ち遠しい思いです。

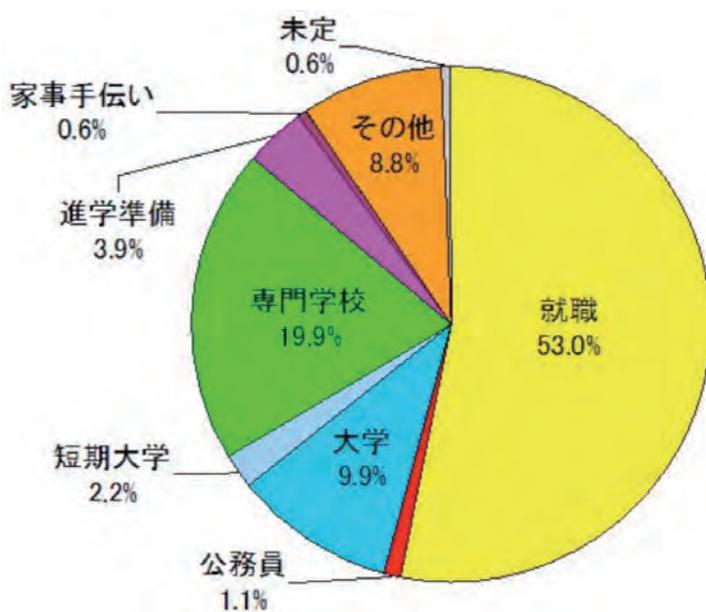


(2) 平成二十四年度卒業生の進路状況について

少し時間が経過してしまいましたが、今年の三月八日(金)にティアラこうとうで卒業式を挙行し、第八十期生一八一人(男子三十八人、女子一四三人)が第三商業高校を巣立って行きました。その卒業生の進路状況は、円グラフのとおりです。卒業生の進路先の大半(五三.〇%)を占めるのが就職であり、

就職希望者のほとんど全員が三月までに内定をもらうことができました。これも、歴史と伝統があり多くの企業から信頼と定評がある三商の強みの一つです。この就職者とは別に、一.一%(二人)の生徒が公務員試験に合格し、都庁や区役所に就職しました。

進学者の内訳は、四年制大学が九.九%(十八人)、短期大学が二.二%(四人)、専門学校が一九.九%(三十五人)になります。四年制大学進学者の中には、中央大学商学部、同経済学部、明治学院大学経済学部、日本大学経済学部などへの指定校推薦による進学者も含まれています。これらは、普通科高校からの一般入試による進学が容易ではない名門大学であり、本校で培った商業教育の実力をいかんなく発揮してほしいと考えます。



(3) 生徒の諸活動について

同窓会の役員の皆様から、在学中のクラブ活動(部活動)でのご活躍の様子をお聞きするたびに、現在

の部活動の活性化が大きな教育課題であると痛感してまいりました。

昨年度は校舎の改築及び改修工事にともない、十分な練習場所や練習日程が確保できず、運動部を中心に部活動にもかかわらず見えてきました。しかし、若手の教員を中心となつて生徒の部活動を鼓舞し、新たな部員を勧誘したところ、今年度に入ってから部員数も増加し、活動が活発になってきました。現在では、放課後はもちろんのこと、土日も校庭から生徒の歓声が聞こえてくるようになりました。一例をあげると、バスケットボール部は男女あわせて部員が四十人に達する勢いであり、バドミントン部は新入生を中心に二十人を超える部員が集まりました。また硬式野球部の部員は十四人に達し、夏の大会



会に向けて練習に励んでいます。こうした結果、ここ数年間中断していた夏休み中の部活動合宿が復活し、七月末にはサッカー部が茨城県波崎町に、バスケットボール部は千葉県白子町で合宿をするところまで漕ぎ着けることができました。さらに、生徒からの熱い希望があったことから、新たにソフトボール同好会とラクロス同好会を設立することになりました。練習場所の確保や顧問教諭の配置に腐心しながら、うれしい悲鳴をあげています。

また、東京都が北海道夕張市の財政再建を支援していることから、本校の生徒会を中心に「ゆうばり応援団」という名称で、近隣の祭礼やイベントで夕張メロンを原料にしたゼリーやキャラメルなどの土産の販売を進めています。生徒がTCSのロゴの入ったスクールカラーの青い法被を着て販売している、三商に縁のある方々やさらには同窓生の皆さんに声をかけていただき、大変喜んでいきます。生徒にとっては、ビジネスモデルと社会貢献を同時に学べる機会であり、今後も継続していきたいと考えています。

創立八十六年目を迎えた第三商業高校では、教職員が一丸となつて生徒をよい方向に成長させようと尽力しています。素直な生徒たちは、そうした教職員の熱い期待に応えようと勉強や部活動、そして進路活動に励んでくれています。この様子を地域住民の方々ははじめ広く都民に知っていただき、第三商業高校を誰もが憧れる素晴らしい学校に発展させたいと願っています。つきましては、これからも同窓会の皆様には、本校の教育活動や生徒たちの成長を暖かく見守っていただけるようお願い申し上げます。



総会報告・新年会報告

同窓会総会開催される

第三十期 藤倉久雄

平成二十四年十一月十七日(土曜日) 両国ザ・ホテルベルグランド三階「ジャルダン」に於いて、午後四時から五十四名の出席を頂き盛大に行われた。



「二番煎じ」を演ずる金原亭馬生師匠 (第33期)



司会は伊澤宏祐(二十八期)。鷲嘉雄(二十八期)の開会の挨拶で幕を開け、まず岩瀬和子(二十六期)の会長挨拶「三商も女子が多くなりはじめの女性会長として今後も頑張りたい」と語り次に「来年(二十五年)は同窓会八十周年記念にあたり懸案であったホームページを準備中で、出来上がった後には是非活用をして頂き益々活性化をはかりたい」と力強く挨拶。

次に来賓として大澤昇都議、今までも三商の建て替え等で大変お世話になっており、三商の存在意識にふれ「今後もお役にたきたい」と挨拶された。

事務局長の杉本光男(二十六期)から一年間の主な事業報告があり、引き続き今回の総会で特別記念講演のご協力を頂いた、金原亭馬生師匠に岩瀬会長から感謝状を贈呈した。

記念講演として金原亭馬生師匠による落語を聴く。馬生師匠は三商出身(三十三期) 本名佐竹守、中央区木挽町の出身。歌舞伎座の裏の方で当然ながら子供のころから歌舞伎の名人芸を見ているはずで、落語家としても江戸っ子の心意気を今に伝える、今まさに油がのっている一人。ご自身も「明るく上品な江戸前の芸風」を目指すと語っている。本日の演目は「二番煎じ」。火の番の夜回りした旦那衆が番所へ内緒で持ち込んだ酒を呑んでいると役人が回ってきたので「風邪薬だ」と言い訳をする(落語のあらすじより)。明るく端正な実力派の落語に拍手が鳴りやまなかった。

第二部として懇親会に移り副会長尾坂富美子(二十四期)の乾杯の御発声で一時間余旧交をあため、副会長、篠崎清(二十二期)の閉会の挨拶、最後に恒例の校歌、応援歌を合唱し盛況裡に幕を閉じた。

平成二十五年 都立三商同窓会 新年会報告

第三十三期 藤 森 伶

二〇一三年二月九日(土曜日) 両国 ザ・ホテルベルグランドにて三商同窓会新年会が開催されました。来賓の都立三商浦部校長、大沢都議他十九期から四十九期までの五十三名の同窓生が参加されました。

私は同窓会の行事に初めて参加をしました。同期の仲間とは門仲で飲み歩いたり、旅行に行ったり、後輩の三商生とも付き合っているのですが、同窓会行事はあまり関心がなかったのが事実でした。昨年十一月の同窓会総会に三十三期同期生の「金原亭馬生」師匠が出演したことがきっかけとなり、先輩方



の同窓会活動に対する「学校への恩返し」と言う言葉に感激し同窓会活動に参加するようになりました。

二十六期古田さんの司会で始まった新年会は、卒業期別に参加者一人ひとりの方がお話しする機会があり、大先輩達が学校時代の思い出や近況をお話になりましたが、一番感激したことは皆さんが三商に入學して、卒業したことを誇りに思っていることでした。

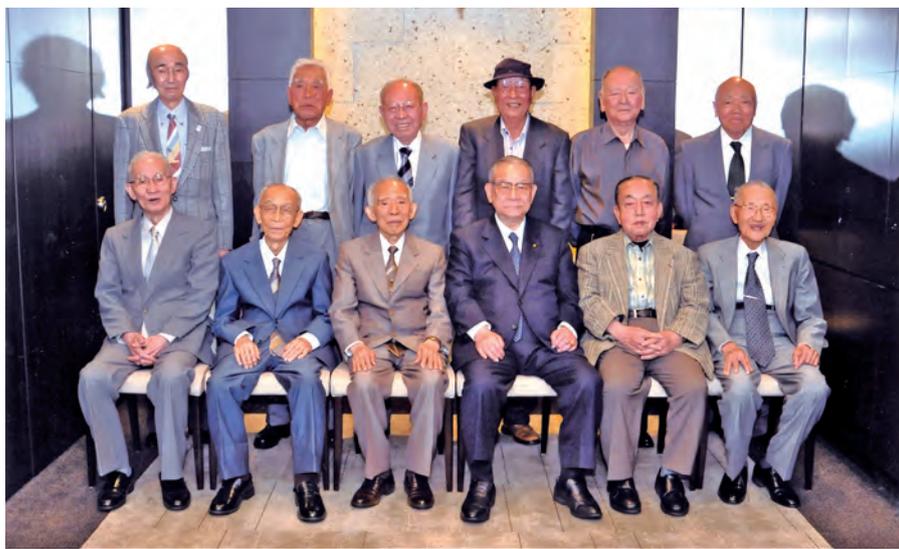
人生のなかのたった三年しか過ぎなかった三商生時代がこんなに意義のある時間だったことを再認識した一日でした。

各期活動報告

十期やそじ会 (最終回)

第十期 荻野文雄

第十回十期やそじ会は好天に恵まれた平成二十五年五月二十四日正午、上野公園下の精養軒3153(サイゴースン)店で開催した。荻野が司会、福田世話人の挨拶、物故会員の冥福を祈って黙禱、小池君の乾杯音頭で開宴。



第10回 やそじ会 平成25年5月24日 上野精養軒 UENO3153

最後の例会とあって近況、回想など自由に語ってもらった。戦時下の越中島で学んだ紅顔の健児は、星霜七十余年、白髪禿頭の老爺と成り、動作も鈍くなった。然し、人生の年輪を刻んだ夫々の風貌に味わいがあり、話しに掬す者あり、笑いが絶えなかった。

心が和んだ三時間、名残りを惜しんで閉会。出席者 十二名

飯島武敏、石川喜一郎、岩崎功、加瀬善太郎、小池善四郎、加島精四郎、小西康義、福田 猛、帆足 誠、松下義雄、山田澤三、荻野文雄

三商十期の会合は、昭和二十七年(一九五二年)五月、故石川保君のリーダーシップで発足した『十期会』を嚆矢とする。大正十三年生まれが傘寿に達した平成十五年を以て解散した。

旧友交歓を惜しむ声に福田 猛君が応え、常連が会食する場として、平成十六年に「十期やそじ会」を設立。大正十三年生まれが卒寿を迎えた本年を以て閉幕とした。

願れば青壯老の六十一年、毎春に親睦を重ねた例会、薫陶をうけた今村直人・清田榮一両先生の墓参会、恩師の長寿祝賀会、戦争の記録を収めた「十期会報」の発行等、三商同期会として特筆すべき諸活動を実施して来た。

原動力は福田・石川両兄の人望と努力に負う所が大きい。歴代の十期会世話人も熱意を受け継いだ。「十期会報」を企画し編集に情熱を注いだ故山崎順三君、補佐した故五島彪君の存在も忘れ難い。多謝。



十七期会

17年の行事報告

第十七期 飯田幸男

校歌祭、忘年会、グルメの会と例年同様の行事を行った。加齢とともに参加人員は減少傾向にあるが固定化した。酒量も減り忘年会よりもグルメの会の方が集まりが良い。今回も十四名。関西の林兄、脚の不自由をおしての中島兄、昨年五十数年ぶりに参加の内山兄今回も介護の人とともに集まってくれた。

いつもの幹事の同窓会報告もマンネリ化の傾向なので今回は内山兄にグルメの会の感想文をお願いした。

『同期会は四月十三日(土) 門仲の中華料理店「華福寿」料理は旨いし酒の味も良い。銘柄は解らない。兎に角料理と合う。幹事の飯田君は下戸で知らないかもしれない。皆の顔は六十年前と変わらず直ぐに昔の面影を思い出す。でも賑やかな顔が見えないと寂しい。幹事さんは大変ですが回数を増やしてほしい。兎に角女性が居ないのが良い。(原文のまま)』

この一年幸いに計報に接しない。この穏やかな日々が永く続くように願っている。



第二十六期同期会報告

第二十六期 杉本光男

二十六期の同期会は、還暦を迎えた時から毎年開催することになり、一組から順に当番幹事になります。ですから九クラスが一回りして、今年には四組が当番でした。

平成二十五年六月十五日(土) 亀戸の「アンフ エリシオン」(旧日本平安閣)で行われました。このところ例年

八十人から九十人ぐらいの参加者で行われていきます。そのうちの八割ぐらいが常連さんです。お互いに「まだまだ若いよな」と言い合っています。本音は相当ガタがきています。

というのも帰りが遅くならないうちに帰りたいとの声が多く、二年ほど前から十二時からの開宴になりました。今年も話題は、病気の事、薬の事、物忘れの事、孫の事が多く、そして遊びの事、旅行の事等盛りだくさんの話をして、校歌、応援歌を声高らかに歌い散会になりました。

二次会に行きましたが、二次会が終わって出てきてもまだ日が高く、昔では考えられない情景でした。結局明るいうちにご帰還することが出来ましたが、うちではどうかしたのか、調子が悪かったのかと変な心配をされました。

第三十四期同期会
開催報告と感謝

第三十四期 三川廣志



平成二十四年十月六日(土) 五時三十分より、第一ホテル両国「清澄」にて、第三十四期第八回同期会を開催致しました。同期生百三十四名、恩師五名の出席となりました。木村友江さん・荘司和子さ

ん二名の司会で尾口一良君が元気に乾杯を行い、開宴第一部となりました。出席者は卒業アルバムから個々の顔写真をネームプレートに転写し、旧姓を胸に下げました。このネームプレートの作製は三十三年の佐々間保人先輩にご尽力頂きましたことを報告し、感謝申し上げます。

第一部は一学年時のクラスメート毎にテーブルで歓談タイム。ここで在学時のスライド(会場で保管)と幹事が想い出の写真を持ち寄り、DVDに収めた物を映写しました。スクリーンには在校時の自分が居り、仲間がいるので懐かしい喜びが会場に拡がりました。その後、二学年時編成にテーブルを移動・歓談タイム。そして恒例のクラス毎の記念撮影。恩師には全クラスにご協力を戴きました仲間も若い時と比べると男女共に貫録があるようです。

開宴第二部、三学年時のクラス毎にテーブルで歓談。一、二学年の時より落ち着いて、より和やかな歓談タイムを過ごしていました。DVD「三商三十四期 昔と今」では、在校時の行事から現在の三商校舎を映写しましたが、歓声が上がったのはやはり、若いときの自分・若いときの仲間が画面に映し出された時でした。エンディングに近づき、恩師よりの挨拶・恩師への記念品贈呈の後、出席者全員で校歌・応援歌を声高らかに歌いました。壇上では女性二名を含む七名が応援歌の振りを元氣いっぱい頑張りました。

村田伊豆生君が閉会の辞を行い、同期会は終宴となりましたが、恩師三名を含む百十名が二次会会場、両国駅「花の舞」に再び集い、同期の和の強い事を改めて感じる事が出来た一日でした。

昭和六十三年の第三回同期会から第八回の同期会幹事は、各クラスから積極的に参加して頂いている幹事です。お互いにサービス精神旺盛で大変心強く、次回も元気に共に楽しい同期会を開催したいと願っております。

最後に、出席者の方に持ち帰って頂いたDVDは、笹木功吉幹事長と娘さんが大変手間を掛けて創られたことに感謝します。

卒業四十五年記念同期会

第三十五期 高桑孝一



四十五年前、昭和四十三年三月に第三十五期四六三名(男子二四五名、女子二一八名)が卒業したのを記念して第五回目の同期会を開催しました。平成二十五年五月十九日、十二時より、新橋「ビ...

ました。

会場が場所が分かりづらかったようで、何名かは到着が多少遅れましたが、ほぼ予定通り、七組幹事田中文司さんの司会により開宴し、三十五期代表幹事 長谷川 誠さんの開会の挨拶、三商同窓会結成八十年を記念してご来賓いただいた同窓会長 岩瀬和子様によるご祝辞・挨拶と続きました。

次に二組幹事 谷 泰一さんの乾杯発声で歓談タイムに入りました。恒例通りのクラス毎に分かれた席で、あつという間に高校生の昔に戻り、和気藹藹と会話が盛り上がりつつ行きました。やがてあの人は今日来てるだろうか、あの人はどうしているだろうか、と、クラスの垣根を越えて他クラスの同期生たちとも解け合い時間が流れて行きました。

久しく会っていない友人と再会でき、語りうことができる同期会。二時間は短すぎる、ほとんど話ができなかったとお叱りの声もあがりました。次回が五年後だなんて先過ぎるという声の一部にありましたので、来年からは今回まで四、五年毎に開催してきた同期会を毎年開催に切り替えたいと検討中です。

各クラス幹事の熱心な住所録の掘り起こしにより、今回初の参加者が十名近くあり喜びと熱気に包まれながら閉会の運びとなりました。八組幹事 宮下恵介さんの閉会の挨拶、同じく八組幹事 桑 真一さんの音頭で全員で三商応援歌唱、一本締め、元写真部九組幹事 篠崎 功さんによる記念写真撮影と続き散会となりました。

三十五期生の皆様、ご協力の程、本当に有難うございました。後日談によれば、二次会は半数近くが同期生バンドによるライブに参加し、また、残りの方々はクラス毎に三次会、四次会と遅くまで楽しまれたようです。

卒業生四六三名(物故者二四名、住所不明者八一名、住所判明者三五八名)

最後に同窓会長 岩瀬和子様より「ご祝儀を、また、二十九期生同窓会理事 大川幹雄様より「ライオン」の株主優待券を頂きました。当紙面をお借りして感謝申し上げます。本当に有難うございました。

同期会顛末記

第四十九期 岩瀬茂幸

一九八二年春、時計台の下から巣立つ最後の卒業生として、越中島を後にしてはや三十年が経ち、今更ながらに過ぎ去った星霜の刹那に驚かされます。

そんな中、お互いに顔を合わせるのも十年ぶりに、平成二十四年十月七日、通算三回目の同期会が開かれました。私も縁があり、今回の同期会から幹事として微力ながら尽力する事となりました。

今回の同期会は昨今の状況に倣いインターネットなども駆使した結果、三百九十四名の卒業生から六十三名の出席者が集まりました。五名の先生方もお忙しい中、また遠くからも駆けつけて頂き、その元気なお姿と、懐かしさに多くの同期生が感激、昔話に花を咲かせる事となりました。

そして、岩瀬会長、土方副会長直々にご臨席を賜りました事、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

十年一昔とは言いますが、我々の同期会も十年ごとに行われ、いささか前回から間隔が開いてしまう事で、幹事会の事前打合せでは、どれだけ多くの仲間たちに連絡が出来るだろうと懸念されておりました。前回の同期会からも住所は不明の者が七十名近くも居り、どのように多くの仲間たちに連絡をつけられるかが今後の課題です。

さて当日、十年前と同じ銀座のパーティーレストランに集まった旧友たちは、その再会を充分に楽しんでくれたようでした。例えば二十八歳時の第一回はようやく社会人として一人前の体になり、ぼちぼち家庭を持ち、新米親として歩み始めた頃。第二回は三十八歳、子どもを持つ者の多くはお金も手間もかかる時期を迎え、自身も長く続く不況に生きていくのに精一杯な頃。目前に五十路を控えた今回、や

つと落ち着いて昔を振り返る事ができる様な気がします。長引く不況は相変わらずですが。

ところで、私だけが感じるのでしょうか。旧友たちは押しなべて若々しく感じます。十代の頃を知り、その面影が実際は年輪を刻んだその顔に、ダブって見えるからなのでしょう。それとも、久しぶりに会う仲間たちに差をつけようと、みな若作りに励んでいるからなのでしょう。私は両方ではないかと推察しています。同じ事が先生方にも言えます。我々が五十路手前なのですから、先生方もご高齢になるわけですが、豊饒とした岩瀬先生のお姿、どちらが生徒か分からないほど若々しい矢田ヶ谷先生、今でも生徒たちの手本となるべき姿を示してくれているのだなと感じました。

しかし、いつの日も楽しい宴の時があつという間に過ぎてしまいます。皆が集まった午後一時未だ昼時分だった銀座は、ほとんどの人は引き続き参加してくれたカラオケボックスの二次会を終える頃には、すっかり夜の街に変わっていました。どの顔も名残惜しさを滲ませながら、次回は近い時期での再会を約束し、それぞれの暮らしの中へ三々五々戻っていきました。



今まで十年サイクルだった私たちの同期会ですが、前述のように落ち着ける年代になった事と、年を取ったせいも、若き日を思い起こす旧友との繋がりを以前より強く求める希望もあり、次回は一年半後の平成二十六年一月に開催することが決まりました。

今回、事情で来られなかった人や連絡のつかなかった人、次回はもっと多くの仲間たちを集められるように幹事会は今から張り切っています。

第二十二期 (三十年卒) 喜寿祝賀会開催のご案内

同期会幹事 篠崎 清

同期会の皆様いかがお過ごしですか。

平成十八年に古希の会を八十一名の参加で開催し、平成二十三年には七十五歳祝賀会を五十一名のご出席を頂き、楽しいひと時を過ごしましたが、早いもので今年喜寿という一区切りの年を迎えることに成りました。

世間では後期高齢者と呼ばれる事が多くなりましたが、此処まで元気で或いは精一杯でも何とか頑張ってこられた事は喜ばしいことです。

そこで幹事会で相談して喜寿祝賀会を開く事と成りました。会場も同期の皆川君のホテルにて開催いたします。

同期の皆さんには連絡の取れる全員に、後日事務局よりご案内を差し上げますのでご検討ください。参加して戴ければきっと懐かしい旧友との再会も期待できますので、ぜひご参加ください。

記

日時 平成二十五年十月十九日(土)
受付 午後十二時三十分より
開会 午後一時
会場 船橋グランドホテル
JR船橋駅 北口三分
電話 〇四七―四二五―一一二一
会費 一万円也

三商24期 (昭和32年卒) 同期会開催のお知らせ

開催日時 平成25年10月27日(日) 12:00～14:00
会場 銀座「三笠会館」 中央区銀座5-5-17 TEL 03-3571-8181
会費 7,000円/1人 (ビュッフェスタイル・フリードリンク)

代表 福原伸行
電話 048-295-1827
携帯 070-6945-5332

第二十九期同期会のご案内

第二十九期会長 二組 大川 幹 雄

同期会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。当同期会も半世紀以上の永きに亘る交友が継続していることは、会員各位のご支援、ご協力とクラス幹事の努力によるところが大きくあり、誠に喜ばしいことと存じます。

さて、二十九期の皆様は古希の年を迎えられ、これを機に会員相互の健勝を祝し、交流を更に深めることを目的に、「古希祝賀、第十三回同期会」を開催いたします。この記念すべき同期会に多くの皆様にお集まりいただき、明るく元気に温故知新、更なる長命を誓い合い、旧交を温めていただければ幸甚と存じ、ご案内いたします。

日時：平成二十五年十一月十七日(日)

十三時開会

会場：「ライオン銀座クラシックホール」

(前回とは変更)

住所：東京都中央区銀座七丁目九番二号

銀座ライオンビル六階

会費：男性 八五〇〇円、女性 七五〇〇円

(会費には当日会費のほか、同期会費二年分および写真代三〇〇円を含む)

詳しいご案内及び参加申し込みの要領他を八月中に各会員登録先へ送付いたします。

最近では二年置きに開催致し、毎回恩師および百名を超える会員にご参加いただき、和氣藹藹と楽しい会合であります。お誘い合わせの上多数のご参加をお待ち致します。

なお今回ご参加不可能な場合には同期会費の納入をお願いいたします。以上

祝 三商入学 50周年 33期同期一同



1963年4月(昭和38年)1年6組 吉岡先生クラス
33期卒の皆さん
今年が三商入学50周年だったってご存知でしたか?
4年に一度の同期会は 来年4月に開催予定です。
詳細は同窓会ホームページ tcsaa.jp で

33期卒の方のお店です。ご利用ください。

3年2組 藤岡 拓	江戸政 寿司店 江東区東砂	03-3648-2737	3年8組 高木 利夫	うなぎ川勇 墨田区石原	03-3622-5592
3年3組 野口 隆	うなぎ・やきとりの店 江戸川区新堀	03-3678-8535	3年8組 前田 領市	鳥末 惣菜店 深川牡丹	03-3643-4129
3年5組 田村 幸司	田村 日本蕎麦店 福生市	042-553-4146	3年8組 古山 宏之	ロータス 喫茶店 日本橋高島屋裏	03-3271-8655
3年8組 長濱 英行	喜楽 中華店 亀戸天神そば	03-3681-0563	3年8組 坂口 保夫	どんどん亭 お好み焼き店 森下	03-3635-4823

同窓会結成八十周年 祝賀会を開催します。

第二十一回東京校歌祭は平成二十五年十月五日(土曜日)日比谷公会堂にて開催予定です。尚、日比谷公会堂は近々大改修の予定がありますので、卒業生の皆様にはこの機会に是非参加を頂き、百名の声を合わせ校歌・応援歌を声高らかに歌いましょう!

校歌祭終了後は、会場を近くに移し、参加者一同と同窓会結成八十周年祝賀会を盛大に祝います。尚、祝賀会々場の席は二百名を予定しています。

個室宴会 日本料理 吉乃翔

〒104-0061 東京都中央区銀座6-2-2
DAIWA銀座ビルB2F
TEL : 03-3572-5222
<http://www.umaimise.co.jp/kitinoshou/>



日時 10月5日(土) 午後5時

会費 3,000円

定時評議員会報告

平成二十五年五月十一日(土)午後五時半より、すみだ産業会館九階会議室四に於いて、平成二十四年度の定時評議員会が開催された。

定刻になり伊澤宏祐(二十八期)氏の司会で始まり、篠崎 清(二十二期)副会長の開会の挨拶に続いて岩瀬和子(二十六期)会長の挨拶、そして杉本光男(二十六期)事務局より、定足数が満たされ評議員会は成立する旨の報告があり、議長選出については司会者一任との声により、会則に従い出席評議員の中より、今泉 清(三十一期)氏を指名、異議なく議案審議に入る。

第一号議案 平成二十四年度事業報告承認の件

事務局より説明があり、前年度承認された二十四年度事業計画案はすべて実行された旨の報告があった。ただ活動記録の抜粋をもとに説明したが、一部活動記録抜粋ミスで、新年会が抜けていたことを告げ、了承承認可決された。

第二号議案 平成二十四年度会計報告及び監査報告承認の件

小林慎典(二十八期)会計より説明があり、原案通りで承認可決された。

予算と執行額の差が多い運営協賛金、同窓会報、母校部活支援の項目についての質問があり、杉本事務局より、運営協賛金については、東京三商会が事務所として古田勝一(二十六期)氏の事務所を借りている家賃の一部を協賛金として出してくれた。

同窓会報については、今年より各期名簿を出してくれば、会報を事務局で送付することになったので、その予算を多くみたがそれほど名簿提出が多くなかったことと、広告が予定以上にとれたこと。母校部活支援については、仮設校舎による部活動が少なかつたのか要求がなかった。

続いて、古田勝一(二十六期)監事より監査報告があり、承認可決された。

第三号議案 平成二十五年度事業計画案承認の件
杉本事務局より説明があり、原案通り承認可決された。

平成二十五年度の事業計画

「都立三商同窓会」結成八十周年の記念事業として、

- 一、ホームページの立ち上げ
- 二、プロジェクト、スクリーンの購入
- 三、横断幕(がんばれ三商)の制作贈呈
- 四、三商同窓会報第五二号の記念号の発刊
- 五、第二十一回東京校歌祭(十月五日、於・日比谷公会堂)参加後に、同窓会結成八十周年記念祝賀会の開催

① 本年卒の評議員十二名が校歌祭、祝賀会参加を見込み、「三商半纏」を着用予定

② 鏡開き、記念品作成など

第四号議案 平成二十五年度予算案承認の件

渡邊秀明(四十八期)会計より説明があり、原案通り承認可決された。

第五号議案 ホームページ立ち上げ報告

大川幹雄(二十九期)ホームページグループ長より、詳細にわたり立ち上げてきた経緯の説明があり、プロジェクトを使って、岩瀬茂幸(四十九期)委員の現在のホームページの画面がどうなっているか詳しく説明があった。

第六号議案 同窓会結成八十周年記念事業承認の件

三浦康二(三十一期)副会長 実行委員長より説明があり、原案通り承認可決された。

その他持寄り議案

三浦康二(三十一期)副会長より、評議員の変更、追加の報告があり承認された。

小池史郎(十五期)氏は中山 清(十五期)氏に変更、新たに細田 武(二十一期)氏、藤森 怜(三十三期)、岩瀬茂幸(四十九期)の各氏が選任され、承認可決された。

議案審議が終わり、来賓として新井智恵子副校長、小林総務主任が出席され、新井副校長より挨拶があった。

最後に土方敏之(二十九期)副会長の閉会の挨拶を以って本日の定時評議員会を終了した。

◎横断幕の贈呈について

三商同窓会結成80周年記念事業の一環として、母校から要望があった横断幕を送ることになりました。大川幹雄(29期)理事のご尽力により、たいへん素晴らしい横断幕が出来上がりました。白地に黒字で、

「頑張り三商！」 1枚

「TCS第三商業高等学校」 2枚

白地に赤字で、

「三商we are No. 1」 1枚 合計 4枚

これらを持って6月28日、副校長先生立会いのもと生徒会会長に手渡しました。

その後、野球部の部員と横断幕を広げて、1枚写真を撮ってきました。野球部は7月7日に東京都の予選一回戦が控えています。その時が初めてのご披露です。

三商同窓会会長 岩瀬和子

頑張り三商!

TCS第三商業高等学校

三商We are No.1

平成24年度会計報告及び25年度会計予算

(単位：円)

平成24年度 会計報告 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)			平成25年度 会計予算 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)		
項 目	24年度予算額	24年度執行額	項 目	25年度予算額	備 考
前年度繰越	8,679,801	8,679,801	前年度繰越	9,210,993	
(収入の部)			(収入の部)		
会費(80期)	1,820,000	1,810,000	会費(81期)	1,820,000	
運営協賛金	0	915,000	運営協賛金	600,000	
利息他	2,000	1,323	利息他	2,000	
収入合計	1,822,000	2,726,323	収入合計	2,422,000	
(支出の部)			(支出の部)		
理事・評議員会	300,000	247,874	理事・評議員会	300,000	
総 会	200,000	202,450	総 会	0	
新年会	180,000	121,900	新年会	180,000	
校歌祭	150,000	180,315	校歌祭	180,000	
同窓会報	600,000	372,790	同窓会報	600,000	会報送料込
ホームページ	0	276,986	ホームページ	500,000	
活性化活動費	200,000	220,070	活性化活動費	200,000	
母校部活支援	200,000	0	母校部活支援	200,000	
就職活動支援	100,000	100,000	就職活動支援	100,000	
母校支援	170,000	115,183	母校支援	170,000	
卒業証書入れ	150,000	117,572	卒業証書入れ	150,000	
会合費	50,000	0	会合費	50,000	
慶弔費	50,000	21,000	慶弔費	50,000	
通信費・事務費	20,000	18,991	通信費・事務費	50,000	
			80周年記念事業	400,000	祝賀会、プロジェクター、横断幕
特別会計予算	200,000	200,000	特別会計予算	50,000	
支出合計	2,570,000	2,195,131	支出合計	3,180,000	
(繰越の部)			(繰越の部)		
前年度繰越	8,679,801	8,679,801	前年度繰越	9,210,993	
当期収入	1,822,000	2,726,323	当期収入	2,422,000	
当期支出	2,570,000	2,195,131	当期支出	3,180,000	
次年度繰越	7,931,801	9,210,993	次年度繰越	8,452,993	

平成24年度特別会計(周年記念事業)		平成25年度特別会計(周年記念事業)	
前年度繰越	853,701円	前年度繰越	2,197,008円
一般会計(80期会費)	200,000	一般会計(81期会費)	50,000
受取利息	241	受取利息	0
70周年行事会計より	31,281		
80周年行事会計より	1,111,785		
収入合計	1,343,307	収入合計	50,000
支出合計	0	支出合計	0
差引次年度繰越	2,197,008円	差引次年度繰越	2,247,008円

会計 小林 慎典

渡邊 秀明

監事 古田 勝一

辻井 正巳

三川 廣志

上記のとおり、報告いたします。 平成25年4月13日

古暮正雄先生と三史会の歩み
「慈敵の心」で生涯を全う

三史会事務局 第二十六期 栗原啓右

三史会発足は、昭和六一年六月私が三商を卒業して二七年後の四六才、公私共に大変忙しい時期でした。三商も新校舎が完成（昭和五八年）し、設備も校庭も全て新装化され、全く新しい世界の誕生を見るかのようにでした。

さて、私たちの恩師古暮正雄先生はどんな状況？ 教鞭の傍ら同窓会事務局長、校舎改築実行委員長、書道日展出品活動等々、大変に心労が重なる日々だったと思われれます。当時私は、同窓会役員会議に出席したり、日展へ先生の作品を見にいたり、折々に感じたことでした。全てを乗り越えほっとした時病魔にあつてしまった。先生五六才の秋のことです。闘病生活は、入退院を繰り返しながら、三年近く続いたが、先生真剣を持って病魔を退治しました。その間三人のお子さん達は成人し、看病し続ける奥様の手助けが出来るようになりました。古暮家に再び春が訪れました。

昭和六一年三月二十七日 先生にはご退職され、私物の整理で学校へ、私も運搬車を担いでお手伝いに行きました。白垂の殿堂のような新校舎は、春休み中、人気がなく、ガラーンとしていて寂しいかぎり。その中であつて先生は黙々としていた。病後の



所為ばかりではなかつたらう。私は思った。三商史学部OBの会「三史会」を発足させようと、そして古暮先生のご指導を仰ごう。早速仲間に相談した。名簿

作りには先生からの情報を得て着手した。会場は三年の時同級生だった鈴木氏が経営する料亭「功德林」をお願いした。

○ 三史会発足総会が盛大に開会

日時 昭和六一年六月二十九日（日）
準備の段階で一三〇名からの回答がありました。
出席者会費振込 八〇名
支援金振込 五〇名
お元気に成られた先生に接したく遠方からも多くの方が参加しました。二期（五〇歳）から四五期



昭和61年6月29日 古暮先生御退職記念 三史会 於 功德林

（二六歳）です。大変感激しました。総会は全員の賛同を得て「三史会」の発足が決定しました。

二部は、古暮先生の退職祝い、快気祝いの宴席です。皆、歓喜！歓喜！



「かあさん ありがとう！」

○ 三史会 第二回総会が盛大に開会

日時 平成八年五月十九日（日）
会場 料亭 「功德林」
出席者 五六名
古暮先生の古希壽をお祝いして、史学部OBの会（十五期〜二十期）も参加され、素晴らしい祝賀会になりました。

○ 古暮先生喜寿の祝い盛大に開会

日時 平成十四年四月七日（日）
出席者 三六名
今回は春の小江戸川越の名所散策と古暮先生の喜

寿のお祝いの実現です。今後、先生との史跡探訪。ご指導は叶わない気がして急ぎ企画しました。特に喜寿のお祝いは、是非とも実現しようと、前々から考えていました。早い気もしましたが、数え歳でお願いし開催しました。



都立三商・三史会 '94, 秋 さきたま古墳群見学会 '94.11.5

○ 史跡探訪活動の実施

三史会が発足し、古暮先生のご指導が得られ、活発的に企画され、実施されました。実施する幹事もグループ別に受け持つようになりました。二〇年間の主な探訪先は次の通りです。

- ☆ 深川周辺と江戸資料館 清澄公園
- ☆ 小川和紙 慈光寺 山吹の里
- ☆ さきたま古墳群
- ☆ 横浜開港史と周辺史跡
- ☆ 小田原歴史史跡
- ☆ 本所 両国周辺史跡
- ☆ 上野公園周辺史跡

- ☆ 市原上総国分寺 尼寺 笠原観音
- ☆ 川越資料館 同史跡巡り

○ 三史会の集まりは極めて良好

ご案内状を発信すれば常に三〇名以上集まる。その点幹事は張り合いが出る。歴史が好きだからと皆言う。それは確かですが、寧ろ三史会が人間性の豊かな世界だからと思われれます。古暮先生が普段、心底に置いている「慈嚴の心」の影響だと思われれます。知らずの内、心の指導を受けていたと思われれます。それは先生から戴いた手紙を、改めて見直した時の事です。手紙の写しを掲載しました。

平成十五年八月三十日早朝他界されました。毎就寝の事です。前夜も奥様のお手を借りて、読書に励んでいたようです。葬儀は三史会が中心になりお手伝いしました。参列者六百人以上にもなりました。ご退職後二十年経過してもこの人気です。



1999.10.24 三史会散策「上総天平史跡巡り」上総国分尼寺 於



七回忌の法事にはご親族、ご親戚の他に先生のご友人、剣道部、三史会の弟子たちも加わり、厳かの中にも、明るく執り行われました。

三史会のこれから

八月三十日の墓参会は、毎年必ず続きます。その席でご意見があれば検討しましょう。是非参加して下さい。

古暮先生のご退職後の活動姿、表情を掲載して頂きました。明るく楽しい思い出ばかりです。

「古暮先生は活きている
三史会メモリアルと共に」

啓右先生 秋の訪れも早過ぎる 残暑中お過ごし
 ですか 多忙とはお察し致しませう
 三史会後の方へお返しの、と、思いつく
 うの下名の随分とご存命の、と、思いつく
 お返おを下さるを、と、思いつく
 叔父の持書も、お返しに、と、思いつく
 蕙蔵殿、いっくみと、お返しに、と、思いつく
 斯く、お返しに、と、思いつく
 三史会後の方へお返しの、と、思いつく
 どうぞ、皆、お返しに、と、思いつく
 九月十四日
 古暮正隆

西原啓右様



'96秋 三史会「小田原歴史散策」 '96.10.6



1999.10.24 三史会散策「上総天平史跡巡り」 笠森観音 於



古暮先生の喜寿お祝い記念

旧跡春の川越を散策する 平成14年4月7日 三史会



よう！ 元気



奥様にお願い申し上げます



平成7年10月 横浜史を語る



歴史を語る先生



毎年1月2日は先生宅で祝い酒



古希寿の宴席 愛くるしい娘達に囲まれて

同窓会結成80周年記念事業**「三商同窓会ホームページ」開設他について（お知らせとお願い）**

情報委員長 伊澤 宏祐
HPグループ担当 大川 幹雄

同窓会結成80周年記念事業として「会員の交流を更に深める」ことを目的に、「三商同窓会ホームページ」の開設、「月次メルマガの配信」「会員サービスの拡大」を致しました。

ホームページ等の具体的な内容、運用方法等について下記の通りです。

会員並びに会員団体からの投稿（行事予定・実施結果、意見等）参加が基本となりますので、各々の詳細をご覧、ご理解いただき、ぜひとも多くの会員からの投稿、ご利用を頂きますようお願いいたします。

I、三商同窓会ホームページの内容**1、HP開設の目的、趣旨**

- ①同窓会活動を会員並びに一般への広報を深める。
- ②同窓会会員および会員団体からの情報提供により会員同士の交流を深める。

2、ホームページ開設について

- ①正式開設時期は平成25年10月初めですが既に本番並みのテスト版運用中です。
- ②ホームページアドレス：<http://tcsaa.jp/>

3、ホームページの概要

- ①トップページ サイト一覧 学校の写真および校章、HPの全体像
- ②同窓会自体の連絡、告知等
同窓会長挨拶、同窓会とは、同窓会則
ホームページの運用について
同窓会行事等のご案内、実施報告
- ③会員、会員団体からの連絡、告知等
会員ならびに会員団体からのご案内、告知等（実施案内、開催実績報告）
会員からの投稿

4、ホームページへの投稿のお願い

会員の交流を深め、会員団体の活動情報提供の便宜のため次の内容を掲載致します、活発な投稿をお願いいたします。

- 会員並びに会員の所属するグループの行事等の連絡、報告期別、クラス別、クラブ別、恩師別、職域等団体別、趣味同好会別、地域別等々
- 掲示板として会員間の自由情報交換（意見、提案、会合等のご案内、勧誘等）
- 会運営や提案など、会への提案、質問
- 会員の公開する発表論文、私見、研究内容、意見交換提案等

5、ホームページの掲載基準、掲載フォーム、投稿要領

詳細はホームページに掲載しております。

①掲載基準

原則的に、お送り頂いた情報はそのまま掲載致しますが、記事内容が、政治、宗教、広告宣伝、営業活動、中傷誹謗、公序良俗に反する、及び一般的な常識を逸脱しているなどの場合は、情報委員会判断で原稿内容の修正および掲載をご遠慮頂くをお願いする事があります。

②掲載期間

原則として半年とします、掲載期間のご希望がある場合は投稿時に提示ください。
期日が過ぎた月末頃に削除します。なおこの期間内でもに掲載削除をご希望の場合は、事務局へメールにてご連絡願います。

③掲載のタイミング

毎月15日までに事務局へご連絡の内容については、翌月初めから掲載します。
但し、月初めが土日祝祭日や5月連休、年末年始については、事務局都合で前後します。

④掲載内容の確認

掲載内容については、同窓会ホームページの前項掲載基準に沿って表現等を修正させていただくことがありますので、必ずお申し込み者にてホームページ掲載後にご確認願います。

⑤掲載原稿の提出

原稿の提出は原則としてホームページの投稿書式に記入、原稿、資料等を添付して送信願います。Eメールでの送信が不可能な場合に限り事務局への郵送、FAX等でも受け付けます。

⑥個人情報の取り扱い

ホームページに「当会個人情報取り扱い方針」を掲載しております。

投稿者は原稿に個人情報を記載の場合はご自分の判断でお願いします、記載された個人情報内容は当会
は関与致しません。(望ましくは掲載は個人名および団体名のみ)

なお参加申込等で受け付けた個人情報はその会合連絡に限定して使用します。

⑦原稿についての問い合わせ、申込先

ホームページに掲載の原稿についての会員等からの同窓会事務局へ問い合わせがあった場合は、原稿提出時の連絡者へ転送します。回答は問合せ者へ直接連絡願います。(送信写しを事務局転送願います)

会員団体等のHP記事に会合参加申込を呼び掛ける場合には、当会事務局で受け付け致しませんので参加申込要領を明記願います。

II、同窓会事務局からの月次メールマガジンの配信開始

同窓会ホームページの開始に合わせて、6月から毎月1回三商同窓会メールマガジンを配信希望者へ配信します。

①メールマガジンの概要

ホームページ掲載記事内容を広く告知するため、同窓会並びに会員団体等の行事等のお知らせ、会員投稿内容等の項目します。ホームページの更新に合わせて毎月初めに登録希望者に配信します。

②メールマガジンの配信方法

希望により「パソコンメール・スマホメール」「FAX」「スマホ以外の携帯メール」の3手段をを予定いたします、登録時に各人の選択により申告願います。

③月次メールマガジン配信希望の申し込み

配信希望は随時受け付けておりますので「メルマガ配信希望」と記載して「卒業期数」「氏名」のほか配信手段および連絡先アドレス、電話番号等を明記願います。

パソコンメール・スマホメールへご希望の場合：受信アドレス

FAX利用をご希望の場合：受信電話番号

携帯メール（この場合は携帯と明記）の場合：受信アドレス

事務局受信の翌月分からお届けいたします。配信は事務局アドレスから行いますので事務局アドレスについて受信可能に設定願います。

④配信希望申し込み先

事務局連絡先は次の通りです。

パソコンメール・スマホメールへご希望の場合：info@tcsaa.jp

FAX利用をご希望の場合：**03 (3643) 3392**

携帯メール（この場合は携帯と明記）の場合：info@tcsaa.jp

III、ホームページ発足に合わせて同時スタートの「会員サービスの開始」

80周年事業として会員団体等の会合開催に当たり、会合並びに幹事の皆様の支援サービスを実費程度の安価な経費お支払いで開始します。

支援サービスの詳細内容及び手続き等をホームページに掲載しています。

(概要)

詳しい内容および申し込み方法および経費はホームページをご覧ください

①同期会等の新規結成および開催支援（指南）——第33期での事例、苦勞をもとに掲載しています。

②会合の都度の開催、結果等の支援

開催にあたり：幹事負担の大きな住所録印刷機の提供、宛名発行者シールの印刷、当日名札の印刷等のお手伝いをいたします。

開催後の取り扱い：当日写真等について一定の条件でHP掲載を致しますので、各自でダウンロードして印刷いただけます。

当日会合模様のDVD作成のご紹介をいたします。

③同窓生共通に支援

同窓会でプロジェクターを保有しました（1基10万円程度）

：会員団体等の会合でのご利用に安価レンタルをいたします。

同窓生手持ちの卒業アルバムのDVD化：斡旋いたします。

以 上

同窓会活動、特にホームページ開設準備仲間へ感謝 「おかげです」「有難う」の毎日

第二十九期 大川 幹雄

昨年春から報恩のつもりで同窓会のお手伝いを始め、特命担当として昨年七月から同窓会ホームページ開設のお仕事を手伝わさせていただいている。三商を愛する気持ちと同窓生の交流を深めたいとの志を同じくして、今回の企画に手を挙げていただいた同窓生は、ご尊名を記載することは省略させていただいたが、ご多用中の中を卒業二十六期から六十七期までの幅広い世代の役員・会員から一四名のご支援、ご指導を仰ぐことができた。ホームページシステムの設計会社にも恵まれ、約十ヶ月かけてこの度満足できるものを完成できた。ホームページの出来栄は、会員の皆様にご利用いただけるかどうかで決まるが、是非とも会員の皆様にご活用いただき、世代



を超えての交流の実を挙げていただければと念じている。

今回の同窓会ホームページ企画にご参画メンバーを見ると、改めて三商卒業生の幅広い業務分野でのご活躍、人間的な温かさ、多士多才さを実感することができた。経験不足の推進役であったが、この度の完成の満足感をご一緒させていただいたのも「苦労を共にした同窓生仲間のおかげです」、本当に有難う」をおもわずクチずさむこの頃の心境である。

卒業後五十年以上の齢を重ね、古希の歳となったがお陰様で元気な毎日を過ごせている。経済的には年金頼りであるが、生きがいとして引き続きいくつかの団体役員としてのご奉仕および物流コンサルでの会社顧問等なお手伝いをさせていただいているが、結果として「気力・知力・体力」維持にこれ努める、有難い毎日を過ごせると感謝している。

現在のいくつかの団体等でお手伝い活動で心掛けていることがある。六十歳過ぎまで過ごした会社生活でたまたまお二人の上司に恵まれ、長くお仕えしたことが、現在の活動につながる基礎づくりができたお陰と今も記憶に残る。お一人は営業部門に在籍のときに永らく仕えたが、今思えば目をかけられたのか常に高い目標を掲げ、日々厳しい指導を受けた。本来の担当業務以外に会社の変節の都度プロジェクトリーダーを任せられることが多かった。与えられた目標に対してチーム一丸の努力の結果、一定の成果が得られると部屋に呼ばれ「大川この成果を御苦労様、この結果はお前だけで出来たと思うなよ、同僚、支援者、取引先等の皆様のご支援、ご理解があったの結果であることを常に肝に銘じ、関わる皆に感謝の気持ちを忘れるな」と念を押しての再三の指導を受けた。大きな節目ごとの部門全体の総括会議に続いて懇親の機会を設けていただき、その終わりにはご自身が輪の中心で発声をして、参加者全員が手をつなぎ、大声で歌うことが常であった。歌う歌は決まって「今日もこうして飲めるのは○△さんのお陰です」、今日もこうして集うのは○△さんのお陰です、○△さんよ有難う」。○△△さんはプロジェクト進行の陰でご苦労した人、縁の下の力

持ちを果たしてくれた人であった。業務の進め方等の情報を広く得ておられたのであろうか、だれもがこの人が頑張ったと認める人を指名していた。

現在の同窓会他でのご奉仕でもこの取り組み姿勢の気持ちを忘れず、ご苦労を頂く方に頭の中でこのセリフを歌いながら感謝の念で過ごす毎日であった。

今一人の上司にはロジスティクス部門の勤務で長く仕えた。流通・消費等の時代の変化を受けて、過去にない部門改革リーダーを務めることが再三あったが、その多くで社内他部門および社外関係業者を巻き込んでの大きかりな改革となる事が多かった。この上司には改革を進める度に「大川よ机上作業での頭だけで結論を出すな、改革目的を求めると課題の関係で業務が大きく変わる職場が多くあるはず、影響内容について必ず自分で現場・現物・現象をみて、数字化して確かめ、目的のためにどこを立て、どこに我慢をお願いするかを決める。その結果を当事者の立場になって一緒に考え、影響の多い職場にはどのように変化に対応していけば良いのかを相談に乗りながら改革を進めろ」と指導を受けることが多かった。結果としてわたくしが現場周りをすることが多かったが、上司は時に忙しい中を率先して一番課題の多い現場に足を運んで、現場の担当者とは話を交えて対話を繰り返してくれた。後々このお二人の上司共グループ統括会社の社長に相次いで就任され、その指導によりわたくしは退職までの長い人生を引き続き薫陶を生かして過ごすことができた。

今回の同窓会ホームページ企画でも「交流を深めたい」との同窓生目線を第一として、かって二人の上司に指導を受けた気持ち、対応方法等を生かし検討を進めるよう心がけて毎日を過ごした。繰り返すことになるが「ご一緒に苦労した同窓生仲間のおかげです」、有難う」をおもわずクチずさむこの頃の心境である。

最後に内輪の話になるが、この年代になっての気持ちとしては、日頃なかなか直接には言えないが、「今日もこうしてできるのはカミさんのお陰です」、有難う」を心の中で念じながら過ごしている。



都立第三商業高等学校同窓会は、「会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与すること」を目的としています。

※現在、ホームページ作成中です。 同窓会メールマガジン会員募集中です。ご希望の方は「お問い合わせ」からお申込みください。

ホーム

コンテンツ CONTENTS

- ホーム
- 同窓会概要
- 投稿記事一覧
- 同窓会、学校情報
- 同期会・OB会情報
- 卒業早見表
- 会員サービス
- 関連サイト
- お問い合わせ

都立第三商業高等学校 同窓会 公式ホームページ

新旧三商のシンボル「正面玄関&時計台」と校歌&応援歌



現校舍正面玄関

校歌

作詞 前田 夕暮
作曲 山田 耕彦
編曲 山田 耕彦
則之

都の空は明けたり今
希望は燃ゆる若きわれら
都立第三商業、ここに挑るや
日本の富を担ふわれら

富貴の雲を望む窓辺
理想は高し、若きわれら
都立第三商業、ここに居るや
都の家を築くわれら

東都の海の門にありて
心は闊し、若きわれら
都立第三商業、ここに立つや
江戸の誇りを継げるわれら

旧校舍時計台



応援歌

作詞 多田 宏次郎
作曲 青山 政憲

見よ三商の旗を
旭日は波がしる
旭の光に刻む若人の
熱き心は三商にあり
（ふれっ、ふれっ、ふれっ、ふれっ、ふれっ）

開け三商の窓から
歴史が語るその聲は
歴史が語るその聲は
命の誇りある若人の
（ふれっ、ふれっ、ふれっ、ふれっ、ふれっ）

見よ三商の旗を
旭日は波がしる
旭の光に刻む若人の
熱き心は三商にあり
（ふれっ、ふれっ、ふれっ、ふれっ、ふれっ）

創立80周年記念CDより

新着情報

2013.07.03

同窓会から三商へ応援横断幕の贈呈

同窓会結成80周年記念事業の一環として、学校運動部応援横断幕を贈りました。

24期同期会案内

3年に一回の24期同期会が開催されます

2013.06.28

卒業アルバム

歴史資料としても貴重な第5期生の卒業アルバムをアーカイブ化

2013.06.28

7月会員投稿

5名の新しい投稿記事をアップいたしました。貴重な映像もご覧いただけます。

2013.06.27

校歌・応援歌音源

トップ画像下に校歌と応援歌が開けるようになりました。

過去一覧を見る

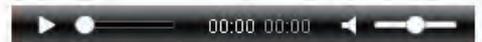
三商校歌

再生ボタンをクリックすると音楽が演奏されます。



三商応援歌

再生ボタンをクリックすると音楽が演奏されます。



同窓会の行事予定・報告

年間の行事、会議予定は次の通りです。

開催予定:開催内容が決定次第、「ホームページ」および「月次メルマガ」にて案内します。

会員の参加行事等	役員行事他
25年 4月	13日(土)理事会 入学式出席
5月	11日(土)評議員会

コンテンツ CONTENTS

- ホーム [→](#)
- 同窓会概要 [→](#)
- 投稿記事一覧 [→](#)
- 同窓会・学校情報 [→](#)
- 同期会・OB会情報 [→](#)
- 卒業早見表 [→](#)
- 会員サービス [→](#)
- 関連サイト [→](#)
- お問い合わせ [→](#)

同窓会関連サイト

三商同窓会に関連するホームページのリンク集です。

学校関連サイト

[→ 都立第三商業高等学校](#)



我が母校のホームページです。

[→ 都立三商ブログ](#)

都立三商のホームページを補足する意味で開設されたブログ形式のページです。
三商現役生の最新情報をご覧いただけます。

[→ 都立第三商業高等学校〈定時制課程〉](#)



定時制課程のホームページです。
4年制で働きながら学ぶ同窓生もたくさんいらっしゃいます。

バナー広告(見本)

2013 体育祭

「わいらは負けへん」

5/10 (金) 江東区夢の島競技場

わいらは負けへん(。^。^)/

T軍優勝おめでとう!

TCS リレー

三商レース

100m 競争

ラフデカバトル

綱引き

大縄跳び

TCS

応援合戦

ムカデ競争

「体育祭を終えて」

体育祭実行委員長 三年一組 森野 一輝

今回私達三年生は、最後の体育祭ということで一から六組まで全てのクラスがチーム一丸となり優勝を目指してとてがんばりました。

放課後は部活動などもあり、なかなかクラス全員が集まって練習することは出来ませんでしたが朝練の時には家が遠い人も早起きしてクラスのほとんどの人が練習に参加して努力してきました。

残念ながら私のいた軍は優勝することが出来ませんでした。がクラスのみんなと練習した日々はとても良い思い出になりました。

学校生活最後の体育祭を悔いが残らずに終わることができてよかったです。

結果

T軍 (5・6組): 1,845点

C軍 (2・4組): 1,656点

S軍 (1・3組): 1,559点

同窓生交流の場

「続バンザイ三商掲示板」

続バンザイ三商管理人

第三十三期 三井田 充身

以前、『バンザイ三商』というホームページがありました。管理人は同期生上野さんの奥さんで、多彩な内容の中には掲示板もあり、主に三十三期生の書きこみによる交流の場となっていました。ところが残念ながら五年ほど前に終わってしまいました。

その後、同じようなホームページを作るのは無理としても、せめて交流の場となっていた掲示板だけでもと思い、引き継ぐような形で『続・バンザイ三商掲示板』を作りました。

それから四年数ヶ月が経ちましたが、副管理人の佐久間さんの協力などもあって現在に至っています。

特にこれといったテーマのない何でも有りの掲示板なので内容は高校時代の想い出話から近況報告までいろいろです。三年ほど前の三十三期の同期会の時には、はからずも連絡の場ともなり、また開催後には多



くの画像が掲載されました。

ところで

掲示板を作った時、始めるからにはせめて三年くらいは何とか続けたいという思いと同時に、もし運よく長く続いたなら五年くらいで

終わりにしようとも考えていました。というのも、すでに六十代に入っていたので管理人を含め皆さん年々書き込む気力がなくなってくるだろうと思ったからです。

ということ最近はいつ終わりにしようかと潮時を考えることも多くなっていましたが、三商同窓会ホームページにリンクされてしまったので終わりにするのが難しい状況になってしまいました。(笑)

あとどれくらい続くかわかりませんが、とりあえず『続・バンザイ三商掲示板』を宜しくお願いします。



ホームページを活かし

同窓会の開催へ

評議員 生徒会OB会代表

第六十七期 秋元 真一

同窓会結成八十周年大変おめでとうございます。

私は同窓会の活動に参加させていただいて十二年です。八十年という歴史を考えると、いかに伝統・歴史のある学校、同窓会であると改めて感じさせられます。

さて、同窓会八十周年の企画でもある「同窓会ホームページ(以下HP)」を作り、同窓生同士の交流がますます深まるように、と委員会が立ち上がりました。私は岩瀬会長より、若い人の意見が欲しい、ということでも声をかけていただき、HP委員会に参加させていただくことになりました。私は微力であり貢献することができませんでしたが、様々な分野で活躍する世代、様々な先輩方のご尽力で、素晴らしいHPが完成しようとしています。HPには同窓会全体の活動や、各卒業期の同窓会情報が掲載されています。我が六十七期では、現在卒業名簿がない状況で、同期会の開催が難しい状況です。(個人情報保護法の関係で)おそらく、六十七期以降の期も同様の事でお困りの方もいるでしょう。六十七期の同窓生からも「同期会をやりたい」という声があがっています。しかし、参加者に声をかけられず、開催に至りません。同窓会HP完成を機に、HPをフルに活用し、ネットワークの力で連絡先のわからない同窓生にも情報を広めようという戦を考えました。六十七期のHPを同窓会HPにリンクします。六十七期のHPに掲載した内容は、流行のFacebookに同期されるようになっていきます。Facebookでは、友達の同窓生に限らず、学歴に三商を入力されている方、誕生日から同窓生と思われる方にも情報が見られるようになっていきます。

「一人から一人へ」を通し、連絡の取れない同期生へ情報がHPを通して繋がることを期待しています。

若い世代の方へのお願いです。同窓会HPどんどん活用し、記事の投稿や同窓会のお知らせを掲載し、盛り上げていただきたいと思えます。六十七期はその先頭をきるためにも、HPを活用し、十一年ぶりの同期会開催を目指したいと思います。同時にHPに関わることで、気軽に同窓会にも若い世代の参加者が増えることを願っています。

私の履歴書シリーズ

三商の思い出

第十九期 細田 安治

窓ガラス割れ放題

「お前は商売人になれ」厳父の一言で昭和二十一年四月旧制中学の、東京府立第三商業学校に入学した。当時の三商はアメリカの進駐軍戦後の学制改革が間に合わず最後の旧制中学だった。

校舎は荒れ果て、窓ガラスは割れ放題であった。学校では、何とか直したい。しかし、学校に予算がない、何とかならぬか、要するに窓を直してくれということだ。父兄にもそんな余裕はとてもない。細田三郎は何とかしなければならぬとして、それでは「ガラス代わりに材木板を提供しましょう」と手を上げた。

木の板と大工を提供し修理した

厳父は、窓ガラスのない校舎では生徒が可哀想だと、窓ガラス用の秋田四分六（六尺×尺×四分）の板を学校へ寄付した。ところが、学校では「板だけ貰っても窓ができない」「窓を作ってきて」ということだ。細田は、それでは、「窓を造ります」と大工さんを派遣して、木の窓を造った。窓を塞げば、教室は暗くなるが、兎に角、雨風を防ぐことができ。これで、一件落着した。当時の校長は今村直人先生、教頭は清田栄一先生だ。私は校長室に呼ばれた。正面玄関から入り、階段に向かって左側であったと記憶している。

旧制一年田部井先生

担任は田部井先生だ。いつもダブルの背広で、頭はリーゼント、スラリとした中肉中背、戦後の日本人では、お洒落の先端をいくスタイリストだ。そう

言えば、ソフト帽をかぶっていた様な気がする。学校の先生というより、ソフトをかぶり、タバコを啜えればまるでニヒルな役者、鶴田浩二のような雰囲気です。この田部井先生が担任で専門は確か数学だった。

田部井先生 母静子への興味



昭和21年4月 入学式

前列右から5人目筆者 2列目右から9人目リーゼント 田部井先生 後列左から4人目母静子

授業の内容は覚えていないが、強く記憶に残っているのは、父兄会があったのか、どうなのか、定かではないが、母静子が、教室へ挨拶にきた。

母は、二度目の母で自分で言うのはおこがましいが美人であった。母が来た時、教室は白粉の匂いが漂い、子供心にも厳肅な授業中にそぐわない、何となく華やいだ雰囲気にかわったのを感じた。前述の通り「厳父」が来ないので、母親が来た訳だ。

ここで艶話めいたことをバラすと、学校一の色男であり、スタイリストの田部井先生が、静子母に一目惚れしたらしく、「細田、君のお母さんは、何という名前か？、年は幾つだ」「今度、家庭訪問する時には、細田の家へ行きたい、道を教えてくれ、地図を書いてくれ」などと聞かれた。それも、何度もしつこいぐらいに言われた。その、田部井先生が、我が家と言っても、工場のなかにある我が家に来たか、本当にきたかどうか記憶にない。しかし、あれ程来たがっていたから、多分来たのではないか！もし来たとしたら厳しい祖母に面会しなるといわれたか。興味深い。

昼休みの弁当箱

お昼弁当時間の悲惨と言うか残酷な出来事は、弁当の時間になると、数名がいなくなる。最初は気がつかなかったが、いないのは、いつも同じ顔ブレだ。私は、オセツカイにも、この連中は一体どこへ行くのか、何をしているのか？と後をつけた。

彼らは、黙りこくって、トボトボと階段を屋上へ登って行く。屋上の日向にしゃがみ、話すこともなく黙りこくって、日向ぼっこをしている。要するに弁当がない。持ってきていない。持ってきてこれないのだ。戦時中の集団疎開でさえ「ご飯と言っても、ご飯とは言えないようなご飯、家畜の飼料のようなご飯であっても、三度のご飯はあるにはあった。しかるに、戦争も終わり平和な時代になっても、中学一年生の子供に弁当を持たせることができないほど貧しかったのか？

中学一年の教室

教室では一番前の机、南千寿と細田安治と竹内巳喜男の背の順でならば、三チビと言われていた。

私は背の低さで三チビの二番目で真ん中だった。南は、何となく色白で小さく発育不良児のような感じ、竹内は生意気な感じだった。三商から明大に進み、フィギュアスケート選手として、また、新しい種目に取り入れられたアイスダンスの初代チャンピオンとなり、オリンピック選手として活躍した。

現役引退後は水連の役員として、海外選手の招聘、日本選手の海外遠征、最近では、浅田真央などを育て、二〇一四年ソチオリンピックに向け、日本選手が好成績をおさめられるよう意欲を燃やしていた。

その彼が、この五月二十二日に脳梗塞で急逝した。誠に無念残念、残念至極だ。日本を代表する逸材を無くした思いである。

その竹内と私は、三商から明大へ一緒に進んだ。彼は、アイススケート一筋、私は、明大柔道部へ入部した。当時の明治は大学では無敵、警視庁と互角の実力であった。チビの細田が「小よく大を倒す」を目指したが、これは通じなかった。大の者に小の者は勝てぬ。つまり、体の大きいもの、体重のあるものに、チビは勝てない。と退部した。

レスリング、ボクシングなど類似競技は当時から体重制があり、チビはチビなりのチビと戦うことができる。現在はこの制度となっている。同じチビなら互角に戦える自信がある。当時体重制であれば、私は講道館二段ぐらいには、といまでも悔しい思いだ。当時は無差別しかない。勝てるはずなし。と悔しい思いだ。

二年、三年

二年になった時、学制改革で、旧制中学は、新制中学校と新制高等学校となった。

中学三年制、高等学校三年制である。従来の高等小学校二年制は、新制中学三年制、旧制中学五年制は新制高校三年制となった。これが戦後の学生改革である。旧制の高等専門学校は四年制の新制大学に編入された。

三年卒業最後の旧制中学生

横山文夫先生は、あだ名はデッサン、彫刻家、岡山出身で真面目な先生だった。

日展への出展作品の構想は、約四尺のマカバを素材に、御存じ「小便小僧」だ。しかし、肝心の材料の調達先がない。横山先生は「細田君お父さんに頼んでくれ」と頼まれた。厳父は早速木場を隈なく探しまわり、やつのことで、本所の雑木屋の堀に浮かんでいたマカバ丸太を見つけた。すぐさま、細田製材所で彫刻用に製材し、横山先生に届けた。先生は大変喜ばれ、早速制作に取り掛かり、期限までに完成した。しかし、入選ならず、あえなく落選した。落選理由をはっきり言わなかったが、水中貯木のマカバ丸太を材料にしたため、後日自然に乾燥し、ビリ割れが発生した。もしかしたら、これが原因ではないかと言うことになり、日展不合格となった雰囲気であった。厳父はこのことで悩み責任を感じていた。こんなこともあったが、その後横山先生は、奮励努力し、数年後に、目出度く日展に入選した。

横山先生は、昭和三十年代この「小便小僧」のビリワレ箇所を丹念に埋め木修理して私に下さった。大切に保管していたが、昭和四十三年五月細田木材が、漏電による失火のため乾燥工場が全焼。屋根に半分かかっていた我が家は、半焼した。この時頂いた大切な「小便小僧」は焼けてしまった。誠に残念であり、重ね重ね申し訳ない事である。

横山先生は、一口に言えば正直で現金な人だった。私にとって大恩師、昭和二十一年から、学校の土地続き西隣りにあるカマボコ兵舎に入居していた。カマボコを切るように内部をいくつかに仕切って生活していた。当時の先生方は、剣道の柳沼ひげ先生、横山先生、矢島先生、山本先生などと記憶している。

生涯の友十九期会 出版記念会

拙著「木と共に生きて」の出版記念会を門前仲町の料亭「金月」で生涯の友である十九期の仲間たちが、祝ってくださった。家内晴子共々ご招待を頂いた。平成二十三年の暮れも押し詰まった十二月二十八日、猫の手も借りたい忙しい日に二十三人が

集まってくれた。

大村彦次郎君、川名省三君、伊藤昭雄君、勝亦弘君、木戸隆吉君、小西照男君、藤井孝保君、正井伸也君、増淵義昌君が発起人となり総勢私達をいれて二十五人となった。

伊藤昭雄君が、細田安治、晴子夫婦のため、特製の相撲甚句、前唄、後唄、本唄と正式に作成頂いた。相撲甚句は、大相撲の呼び出しが使うやや大き目の扇子に、甚句をしたため、土俵を意識し、唄いこむ作法である。

伊藤君は、宴席を土俵に見たて、見事な唄い込みで披露頂いた。彼は両国相撲甚句会の幹部をつとめ伝統を継承している。私も夫婦はこの上もない感激の思いであります。



平成23年12月29日
出版記念会
伊藤昭雄君の相撲甚句

相撲甚句

ここで、伊藤君の甚句を披露申し上げる。
相撲甚句 細田安治著 木と共に生きて より

本唄

細田安治君の来し方辿る ヨー
ルーツは清和源氏とて
偉業為したる先祖あり ハイ

戦火が襲う大東京
集団疎開を経験し ハイ

家業手伝う十二歳
巖父の指示の学び舎は
都立三高・明大へ
他人の飯の経験は
製材・木工・乾燥と ハイ

目指すは総合メーカーで
ラワン・アピトン・ベニヤ板
質と技術に高評価 ハイ
天然材のツキ板で
迎える外国研修生 ハイ

指導・普及に汗流し
業界組織のまとめ役
努力讃える勲章は ハイ

晴子夫人があればこそ
六十余名の役職員
ますます 隆盛 祈ります ヨー
はやし

ハア 名前は「細」田「安」治だが
「太」く 大きな木と共に
「高」い 評価の勲章は
旭日輝く 小綾章 小綾章 と

平成二十三年十二月二十九日
両国相撲甚句会会員 伊藤 昭 雄
三商で学んだこと
宿題

三商で学んだことはなんだろう。特にこれは、これだけは、を思い出せず苦しんだ。苦しいんで思い出せずにも書かずに置こうか、さんざん悩んで、パット思い出したことは、中学二年のことだ。

先生は誰だか記憶がない。国語の宿題を丸写しにして提出したが、当時は宿題を出すことだけが大変な作業だった。出すことで精いっぱい、それも前日の一夜漬け、フウフウしてやっと間に合う。そんな状態だった。

私は例によって一夜漬け、しかも教科書丸写しだ。それでも、何とか間に合わせ提出した。宿題の主題

は、一、まず何が書いてあるか。二、それに対して自分はどう思うのか？を書くことだ。特に二、自分はどう思うのか？を主として書きなさい。これが、宿題の狙いだ。このころは、二、の狙いには、気づかずひたすら一、のなにが書いてあるかを、主に考えていた。今思えば、まったくの愚か者だった。

宿題の真の狙い

知識と思考力

予習

先ずはなんでも、知ること、知識を得ることだ。先ず勉強の入り口として、知らねばならない。知るためには予習しておくこと。予め調べておく。教科書であれば、何度も読み返し、要点を頭に入れておくこと。どうしても時間が取れなければ、目次だけでも読んでおくことだ。

本習

授業、受験

予習の質を高めておけば、本習も理解がより速く深まることになる。予習の質の向上は、自分の考えでさらに上がる。

学校の宿題は、まず何が書いてあるか？主題の内容だ。先ほどの丸写しがここに該当する。自分の意見、内容についてどう思うのか？宿題はこれを求めている。知覚力、思考力が求められることになる。宿題とは予習のことだ。予習し、学校で教室の授業を受ける。これを私は、本習と言っている。



第121回 三商十九期・懇親会 平成25年1月18日(金曜日) 於 大関庵

復習

毎日がテスト

応用問題の繰り返し

次が復習だ。これも大事だ。人間は、予習し、本習すればこれで終わりと考えてしまう。入学試験、資格試験などその典型的な例だ。一夜漬け勉強で合格してしまえば、一応の区切りがついた。

しかし、入学してから、または、資格取得後、実際の仕事で適用するとき、覚えていないものだ。また応用問題にも対応せねばならない。ビジネスの世界では、毎日がテスト、毎日真剣勝負が続く戦場だ。学校で勉強のできる頭の柔らかい年代に、しっかりこの思考法を身に着け習慣つけることが大切である。

見識 理解すること 知るだけでは、何にもならない

い、そこで知るの次は理解することだ
 胆識 迷い、苦しみ、考え抜く
 何が何でもやり抜く精神が必要だ

人間の心

人は何事も、その時の、その人の心の状態により、思考の選択肢がそれぞれ違うほど奥が深いものだ。

人は頭がないことは、見ない、聞かない、読まない、話さない、書けないものだ。逆にいえば、頭にあることを、見る、聴く、読む、話し、書く、人は、人の話しの奥深さを知れ。ここで、「厳父のお前人の言うことを聴け」が出てくる。

人の話の、奥深さを知れ。何を話しているのか。ただ間違いをとがめられているだけか？感情に任せて怒っているだけか？ここが大事なところだ。自分分は教えられているのか？確り、確かめる心を持つ。

読むだけでは 知るだけだ。理解する。理解するには、書いてあることが、何の目的で書かれているのか。

人はその時の心の状態で、思考への選択肢が違うほど、奥が深いものだ。まして複数の人間をお相手にするときは、多くのお相手は選択肢が無数にあることを知らねばならない。

しかし、人間の集団は、一旦、モチベが上がり心に火が付けば、大きな力となる。集団の心を、如何に知り、理解し、行動することを心がけねばならぬ。これが、厳父の「人の言うことを聴け」と教えられた三商では「宿題を丸写し」で叱られたが、教えられたことは、無限に大きなことだった。

三商の六年間、お世話になった先生方、そして生涯の友十九期会の諸兄に心から敬意と感謝の意を表し、都立三商が教育の中核としての益々発展しますよう、そして同窓会の発展と皆様のご健勝を心から祈念し回顧の言葉といたします。有難うございました。

三商祭のおしらせ

10月5日(土)・6日(日)



<http://www.daisanshogyo-h.metro.tokyo.jp/>



2012年 三商祭 (昨年)

「三商祭だぜえ！ワイルドだろう」



三商同窓会八十年の航跡



第二十六期

古田 勝一

都立三商は昭和三年四月開校：第一期の卒業生百七十八名を昭和八年に輩出して以来、総会員数は二万六千四百十三名を数えるに至りました。その間、三商同窓会は社会情勢の幾多の変遷・波濤を乗り越え、本年八十周年を迎えます。

初代校長 吉澤徹先生は、その風貌から「和製リンカーン」と親しまれ「頭は文明人に、体は野蛮人に」と繰り返し教えられました。一流国際人に相応しい教育『リトル・ゼントルマンたれ』との三商精神が独特の校風となり：伝統となり、受け継がれております。

戦前は修学旅行も一ヶ月に及ぶ「満州」へ。また、当時としてはモダンな時計塔の聳える校舎、そして制服は背広、白いワイシャツに黒ネクタイ、帽子は慶應帽に蛇腹を巻いたユ

歴代同窓会会長

Table with 5 columns: 同窓会 (代), 同窓会 (期), 会長氏名, 自, 至. Lists presidents from 1945 to 2012.5.

ニークなものでした。そうした母校に対する共通のノスタルジックな思いが不思議な一体感となって、他校とは異なった雰囲気同窓会を醸し出してあります。

昭和八年(1933.4.29)に発足しました同窓会も、当時は殆ど学校の世話で運営されていたもので、実質的に独立したものと成ったのは昭和十七年四月二十九日の天長節の佳日を記念して開催された同窓会総会からと云えるようです。

そして戦争終結後、荒廃した同窓会組織の再編を第二代の今村直人校長より依頼を受けた岡田一郎氏が昭和二十年、初代同窓会会長となり、四十年の長きに亘り会長を務められ、第二代都築健一氏へバトンタッチ。

都築氏は財団の六日町山寮の処分問題にも取り組み、会長として十三年間、精力的に任に当たられました。

第三代、神谷武志会長は米国俳優のハンフリー・ボガードばりの渋いダンディーな方でしたが、病気がちで三年間程務められました。副会長の福田猛氏は(社会現象で生徒数が減り、このままの状態が続くと同窓会の財源も先細りになるのは必至であるので)各期の同期会及び個人に呼び掛け「寄付金」を募ろうと提唱し、運営協賛金の名目で平成十二年より開始しました。運営協賛金の勘定科目は引き続き現在も生かされております。

第四代、大嶽 清会長は、これまた米国俳優のダニー・ケイばりの男前の方でした。昨年第二十回を数えました「東京校歌祭」へも、三商は大嶽会長の代に第五回より参加しております。

歴代同窓会副会長

Table with 3 columns: 同窓会 (代), 同窓会 (期), 副会長氏名. Lists vice-presidents from 1933 to 2012.

卒業式共に来賓として律儀にご臨席されておられた姿が印象に残っております。

初代より四代迄は、同窓生でもある三商勤務の先生が事務局として主導する活動状況でありました。

第五代、木戸隆吉会長は横綱「大鵬」似のガッツリとしたハンサムボーイで、張りのある良い声で演説もされておられました。

この頃より三商出身で三商勤務の先生が少なくなくなり、同窓生の手に乗る自主運営をせねばならない状況となりました。この代の中野貞三事務局長の懸命の努力もあり、自主運営へと軌道に乗せて行くことが出来ました。

第六代、柴崎晴雄会長になりました。同窓会報の紙面がガラリと様相を変えました。これ迄の報告事項的な誌面から、カラーを取り入れた、読んで楽しい「面白い」ものへと一新しました。

このような素晴らしいことが実現しましたのも、その陰に日本原色印刷工業(株)の高久三男社長の採算

を度外視した心からの御尽力があったからこそです
…ご恩を忘れる事は出来ません。

また、この代の杉本光男事務局長は最初から綿密な計画を立てて一意専心その運営に当たられ、うまわずたゆまぬエネルギーでかつてない充実した活動を展開しました。

ここに来て、自主運営の定着・確立を見た思いです。それも自主的に！！！！健全に！！！！また、活発に！！！！。

三商は男子校としてスタートしましたが、昭和二十三年、新学制の実施に伴い、昭和二十四年より四名の女子を受け入れました。これを皮切りに徐々に女性も増え、高学歴社会など時代の波には抗し切れず、ついに昭和四十四年を境に男女の比率が逆転：現在は会員総数の半分以上が女性会員です。

こうした流れとともに、第七代同窓会長も岩瀬和子氏が選出され、初の女性会長の誕生となりました。

岩瀬会長は副会長の頃から若い世代の同期会開催を重視し推進して来られました。私も、同窓会の成長戦略をテコ入れするために欠かせないものは延長線上にある各期同期会の強化に他ならないと見ています。

活発な同期会の「核」を増やさなければなりません。そうした同期会の「核」が増殖して来れば、必ず同窓会全体の底上げに繋がって行くと思います。

歴代同窓会事務局長

同窓会 (代)	同窓会 (期)	事務局長氏名
初代	6期	杉原 勇太郎
2代	12期	古暮 正雄
2代～5代	19期	岩瀬 源
5代	19期	中野 貞三
5代	25期	柴崎 晴雄
6代～7代	26期	杉本 光男



同窓会創立総会

また、同窓会八十周年記念行事の一環としてホームページが開設される運びとなりました。

開設準備のリーダー、大川幹雄氏(第二十九期)は、まず期間を決めて：目標↓計画↓達成↓成功とロードマップに沿って各委員と確認し合いながら完成へと導きました。この大川氏のリーダーシップは賞賛に値すると思います。

開設準備を進める中で、佐久間保人氏(第三十三期)、岩瀬茂幸氏(第四十九期)はじめ若い活躍出来る優秀な人材が出現しましたことも次世代への明るい展望となりました。

これより先は、男性会員は元より、多数を占める若い女性会員の感性が生かされた同窓会になる様、

女性会員の一層の活躍が望まれる処であります。

同窓会として成長して行くにも、これ迄培った三商精神の伝統を軸に多様な人材で新時代へ向かう方が面白い。

さらには同窓会の趣旨の通り、昔の栄光の三商を目指し、母校三商の地位向上のために努めて行きましょう。具体的には「成人力」を身につけた人材育成の観点から、物心両面での支援(資格取得支援・卒業証書入れの寄贈・部活動・就職活動など多角的にわくわくする未来図で…)を戦略をもって強力に推進して参りたい。

最後に、岩瀬会長になりましたから同窓会と母校三商との連携が、かつて無い程スムーズに運んでおります。

これは浦部利明校長先生のお人柄に拠る処が大で有ると思われれます。この良好な確固たる関係がオール三商発展のエネルギーに進化することを切に願っております。

歴代同窓会監事

同窓会 (代)	同窓会 (期)	監事氏名
初代	2期	村田 晃一
初代	4期	斉藤 茂雄
初代	5期	平岡 靖章
初代	8期	神谷 武志
初代～3代	9期	小川 博敏
3代	11期	森 光義
2代～3代	12期	大嶽 清
3代	20期	河原 啓介
5代	21期	浅野 修一
4代～5代	22期	鶴ヶ谷 義徳
5代～7代	26期	古田 勝一
4代～7代	27期	辻井 正巳
5代	29期	土方 敏之
6代～7代	34期	三川 廣志

昭和3年(1928年)	1月31日	東京府立第三商業学校 設立
昭和8年(1933年)	2月7日	前田夕暮氏歌詞、山田耕筰氏作曲の校歌が出来る
	3月29日	第1回卒業式挙行・・・帝国ホテルにて祝賀晩餐会開催
	4月29日	同窓会が発会式を挙げた
昭和13年(1938年)	12月13日	川岸運動場の獲得…整地に入る
昭和17年(1942年)	4月20日	同窓会報第1号発行
	4月29日	同窓会総会(天長節の佳日を記念して)
	9月	同窓会より母校にブラスバンド寄贈
昭和18年(1943年)	7月	東京都立第三商業学校と改称
昭和20年(1945年)		同窓会・組織の再編 岡田会長、今村直人校長より依頼を受ける
昭和23年(1948年)	1月31日	創立20周年記念行事
	4月	東京都立第三商業高等学校と改称
昭和24年(1949年)	5月	生徒会 誕生
昭和25年(1950年)	10月10日	多田宏氏作詞、池内友次郎氏作曲の応援歌制定
昭和27年(1952年)	4月28日	(日本国独立回復) 講和発行を祝して講堂前にシュロの植樹
昭和30年(1955年)	4月	「同窓会名簿」発行
昭和31年(1956年)	11月	「同窓会報」復刊第1号発行
昭和33年(1958年)	2月23日	創立30周年記念式典挙行
	3月9日	第25期生、戦後初めての卒業祝賀会(於 プリンズホテル)
	7月	同窓会として母校にプール寄贈
昭和37年(1962年)	6月	六日町山寮、落成式挙行
昭和38年(1963年)	1月31日	創立35周年記念式典挙行
昭和39年(1964年)	1月27日	財団法人 東京三商会の設立が認可される
	1月31日	「同窓会会員名簿」発行
昭和40年(1965年)	8月	山寮運動場完成
昭和43年(1968年)	1月	三商生徒会館 兼 同窓会館 竣工
	1月31日	創立40周年記念式典 挙行
昭和50年(1975年)	3月11日	川岸運動場、東京都に売却
昭和53年(1978年)	1月28日	創立50周年記念式典 挙行
昭和55年(1980年)	12月	新校舎着工、体育館、プール等、一部施設解体
昭和57年(1982年)	4月	新校舎落成、旧校舎、講堂、武道場等解体
昭和58年(1983年)	5月14日	改築落成記念式典 挙行
昭和59年(1984年)	6月10日	「同窓会会員名簿」発行
昭和60年(1985年)		第2代(3期) 都築健一同窓会長 就任
昭和63年(1988年)	1月31日	創立60周年記念式典 挙行
平成8年(1996年)	9月26日	「同窓会会員名簿」発行
平成9年(1997年)	11月1日	創立70周年記念式典 挙行
平成10年(1998年)	6月	第3代(8期) 神谷武志同窓会長 就任
平成13年(2001年)	5月	第4代(12期) 大嶽清同窓会長 就任
平成15年(2003年)	5月	第5代(19期) 木戸隆吉同窓会長 就任
平成20年(2008年)	1月12日	創立80周年記念式典 挙行
	5月	第6代(25期) 柴崎晴雄同窓会長 就任
	9月1日	「同窓会報」第47号発行(三商創立80周年記念特別号)
平成23年(2011年)	3月25日	財団法人 東京三商会より公益財団法人 東京三商会への移行認定書受理(4月1日効力発生)
	7月1日	「同窓会報」第50号発行 ※昭和31年(1956年)復刊第1号より数えて
平成24年(2012年)	5月12日	第7代(26期) 岩瀬和子同窓会長 就任(初の女性会長 誕生)
平成25年(2013年)	3月8日	第80期卒業式挙行…ティアラこうとうにて

エッセイ

八十八年を生きて

第十期 荻野文雄

自分の年齢と、昭和の年代が同じの大正十四年（一九二五年）に生まれた私は、昭和史に、特に大日本帝国最期の時代であり、戦争の時代であった昭和前史に格別の思い入れがある。

昭和十二年、三商に十二歳で入学した。その年の七月七日に日中戦争が勃発した。大東亜戦争（太平洋戦争）が始まった十六年十二月、戦時措置として繰上げ卒業した。二十年八月十五日、敗戦の玉音放送は二十歳の陸軍二等兵として四国高校の小学校宿舎の蟬しぐれの中で聴いた。小学校に入学した年に起きた満州事変以来の「戦争の児」は戦争は終わることのできるものだったのか、という感慨だった。同時に、死の恐怖から救われ、軍隊の束縛から解放されて自由を得たという心境だった。多くの大正世代が、南方戦場で餓死し、強制された特攻で、自爆し、シベリア抑留中に凍死した。戦争は悲惨だ。生きていけば国家社会の為になったであろう若者たちが人生の花を咲かせることなく散っていった。私は徴兵最期の年代の故に過酷な運命を免れたといえる。同期生でも戦死者は少ない。

今日の視点から、太平洋戦争は、米国の軍事力、経済力、科学技術の圧倒的な格差から勝ち目のない戦争であったことは歴然としている。なぜ米英を相手に国家を破滅させるような戦争をしたのであろうか。

直接の原因は、昭和十六年七月二十八日、日本陸軍による航空基地の建設と石油その他の資源を東南アジアから確保する目的の南部仏印進駐が米国政府を刺戟し、石油の全面禁輸と在米日本資産の凍結をもって報いられたからである。

昭和天皇は、戦前は現人神として、戦後は国民統合の象徴として激動の時代を生き抜かれた。平成二年に発表された『昭和天皇独白録』に、「日米戦争は油で始まり油で終わった様なものであるが、開戦前の日米交渉時代に若し日独同盟がなかったら米国は安心して日本に油を呉れたかも知れぬが、同盟がある為に日本に送った油が独逸に廻送されはせぬかと云ふ懸念の為に交渉がまとまらなかったとも云えるのではないかと思ふ」と述べられている。

昭和十六年十二月八日、米英に対する宣戦布告の詔書が渙発された。「帝国ハ今ヤ自存自衛ノ為蔵然起ツテ」開戦するとある。

米英に対する戦争が避けられなかったとしても、乾坤一擲の勝負を挑む為に、戦争目的を「自存自衛」だけではなく、「アジア民族を白人支配から解放する」という高い理想を掲げるべきであったと思う。アジア解放を信じて死んでいった若者がたくさんいたことも事実だ。

昭和二十年八月六日に広島に、九日に長崎に原子爆弾が投下され、八日にはソ連が日ソ中立条約を無視して日本に宣戦布告し、赤軍が満州に侵攻した。日本政府は、八月十日、ポツダム宣言を受諾して連合国に降伏した。

二十一年五月三日、極東国際軍事裁判が開廷した。戦争中の指導者二十八名がA級戦争犯罪人として被告になった。

二十二年五月三日、日本国憲法（新憲法）が施行された。基本的人權の尊重、平和主義、国民主権が三原則となった。九条戦争放棄が眼目である。この条項は、たんに米国が日本の軍事的復活を恐れて強制したというのではなく、第一次・第二次世界大戦の惨禍を経験した西欧諸国の理想、世界的な理念が書き込まれている。敗戦によって購ったものであり、人類平和の祈りが込められている。

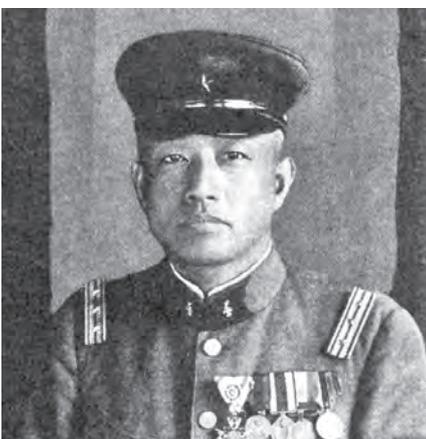
二十一年三月、電機大手のT社に在籍した縁で、昭和を動かした人物に出会い、馨咳に接したのは幸いであった。

石原莞爾中将は、関東軍参謀として満州事変の首謀者として知られ、参謀本部作戦部長として日中戦争に反対し、東条英機陸相との確執によって太平洋戦争前に予備役になったが、陸軍第一の戦略家であった。東京裁判の酒田臨時法廷に証人として出廷し、市ヶ谷法廷の頭官被告たちが連合国の検事・裁判官に唯々諾々としているのに対し、原爆の投下、都市の無差別爆撃を命じたトルーマン大統領こそ第一級の戦争犯罪人である、と戦勝国を相手に堂々と主張した。二十四年八月十五日逝去。

石原莞爾という人物は死後六十四年を経た今日でも、その評価が定まらない存在である。

満州の曠野に五族協和の国家を建設した理想家と稱せられる一方、満州事変を独断で起した悲惨な十五年戦争の発起人と貶されている。

二十四年七月、私はT社府中労働組合執行委員として新潟市での全国車輛産業労働組合中央委員会に出席した。閉会后、日本海に沿って走る羽越本線で秋田県境の鳥海山麓、山形県吹浦に至り、石原將軍が東亜連盟の同志と共に農耕生活をされている西山農場を訪ねた。一隅の簡素なお住まいに病臥されておられたが、心よく会ってくださった。病床に端坐し、「暑いから裸になりたまえ。何でもきいてくれ」と言われた。元二等兵は中将閣下が優しく



石原莞爾中将

に感動し、礼儀正しくた。何故日本は負けたのか、教えを請うた。「もし自分が戦争を指導していたならば、米國に勝てた」とまでは言

わないが、絶対に負けはしなかった。」という言葉が、今なお脳裏に焼き付いている。

蒋介石総統と無条件で和平して中国から全面撤兵し、南方戦線は大胆に縮小して資源地帯の防衛に転じ、持久態勢をとる。政策的には外交ルートで講和の機会を視う。海軍は全力でサイパンを死守すべきであったが、為すところなく陥落したために日本本土への爆撃が可能になった、と慨嘆された。

後年、三期の歌川平次郎氏が西山農場に居住されていたことを知った。ある年の同窓会総会の席上、会長の都築健一氏（三期）に歌川氏についてお尋ねしたところ、小学校、三商を通じて親友であり、東亜連盟運動の同志で、日蓮主義の同信であったとのこと。戦後、石原將軍を慕って京橋木挽町から山形県西山に移住して百姓になり、將軍没後は養護学校の教師になられたこと等を伺った。また、平成二年十月、清田榮一先生から頂いたお手紙の中に次のような一節があった。「三商三期の歌川平次郎君（慶大卒、故人）は石原將軍に帰依し、膝下でご指導を仰ぎました。戦後、山形県で教職をつとめていましたが、先年他界しました。彼が存命ならば、貴君と対談も出来たことと残念です。」

老人の特権は自由な時間だけは十分にあることである。自宅から歩いて五十分ほどの処に神奈川県立図書館があり、弁当をもって殆ど日参している。専ら現代史に関する本を読んでいる。書架の本の背表紙を眺めているだけでも知の海を航しているような気分になる。

各種の新聞・雑誌を閲覧できるのもあり難い。活字人間にとって公共図書館は学習の場であると共に憩いの場である。『徒然草』の「存命の喜び、日々楽しんでまざらんや」を実践している。

八十八年を諸縁に支えられて生きてきたことを感謝している。自分らしく人間らしく日本人らしく生き抜いて、天与の命を全うしたいと切に念う。

（平成二十五年三月十二日記）

都立三商伝統の教え

『おいあくま』について

第十九期 木戸隆吉



「隔たりて、ますます高し、富士の山」

富士山が、平成二十五年六月二十二日（土）に、三保の松原を含めた形で、世界文化遺産に、決定登録されたことは、誠にお目出度いことで、日本人として、謹んでお慶び申し上げます。昔から日本の誇りに『米刀、おんなの才智、富士の山、たたみ美濃紙、かつお節』という名句があります。米は世界一の品質を誇り、これから増産に切り換え、TPPに参加し、世界各国に輸出して欲しい。おんなの才智にしていえば、東洋の魔女とうたわれた貝塚のバレエボール、サッカーの、なでしこジャパン、ソフト

ボールの日本代表選手団然り、卓球、レスリング等の、各分野に於いて、目覚ましい活躍を、なされていることは、喜ばしい。又富士山の、遺産登録によって、保全に気を配り、観光事業に力を注ぎ、外貨獲得に役立たせて頂きたい。

さて、本題の格言について、述べさせて頂きますが、その対処法について、私見ですが記述させていただきます。

対処法

「お」 ↓ おこるな

愛の反対は、憎しみではなくて、無関心である。朝日新聞に掲載。

「い」 ↓ いばるな

低姿勢で応対し、人間だれしも、長所がある。敬意を以って接する。

「あ」 ↓ あきるな

毎日同じことを、していると、あきるから、趣味を二つ位持つて生活に変化を加えて、楽しむ。

「く」 ↓ くさるな

平常心を保ち人生を楽しく過ごすように。

「ま」 ↓ まげるな

勝つと思うな、思えば負けよ、最善を尽くせ。（ドゥ ユアー ベスト）

人生の中で、大変貴重な、格言である。つまり、「おいあくま」の一つでも、疎にしたら、「おい悪魔」が、やってくるぞ、という事になる。今メディアでは、著名な方の、失言が多く、口をすべらせて、一生を台無しにするケースが多い。戒めなければ、なりません。病いは、口から入り、災いは、口から出ること、長寿の心得にも、載せられている。そこでこの伝統格言を覚えて下さった恩師は、三商十期

卒、故竹田一郎先生です。在学中は、「おいあくま」は聞いたことはなかったが、卒業して、十九期会の同期会で、良い格言ですから『覚えて下さいね』と教えて頂きました。

話しは変わりますが、芸能界で物まねで人気の「コロッケ」さんが、テレビのインタビュアーで、私が現在に至ったのは、母が云う「あおいくま」のお陰です。「私はこれを守って、現在があるのです。」と話しており、「おいあくま」と「あおいくま」とは、同じ内容で、確か、コロッケさんは九州のご出身、三商二代校長、今村直人先生も九州のご出身であられ、昭和十四年に三商に赴任されたことを考えますと、時代的、内容的に合致するような気がします。

今私達十九期生は、毎月一回十九日前後に墨田区両国二丁目の「大関庵」そば店で集い、金二千五百円の会費で、お蕎麦とつまみ、ビール、お酒等で二時間の宴を催しています。話題は豊富で、元気で飲み食いしております。今年で、八十の祝い、傘寿の会を計画しております。構成は、昭和七、八、九年生まれの、申、酉、戌年で、同期会は、継続するか、又別の名前で、例えば桃太郎三商会とするか、このまま、米寿八十八歳、卒寿九十、白寿九十九、茶寿百八歳、皇寿百十一歳と、最後まで頑張るか、と話題になっております。ここは木村次郎右衛門さん百十六歳までを目指して生きるつもり。

結びとして、長生きの秘訣は、

へ気はながく、勤めは堅く、色うすく、食細うして、命ながかれ、

へ気はながく、心は丸く、腹立てず、口をつつしめば、命ながかれ、あの世に早くいきたい方は、

へ気は短く、勤めはするく。色深く、食太うして、

命短かかれ、寿命は天が定めるもの、生きてる時は、好きなことをして、過ごそうでは、ありませんか。

ご参考までに、次のことをしたためておきます。

三商卒業式に於ける教訓

「意識が変われば、行動が変わる」

行動が変われば、習慣が変わる

習慣が変われば、人格が変わる

人格が変われば、運命が変わる」

「富士見坂は、都内で二十八ヶ所あるが、富士山が見える坂は、西日暮里の、富士見坂だけ」「山は富士、海は瀬戸内、温泉は別府」とか申します。

以上をもって失礼いたしますが、同窓会の発展と、会員の皆様のご多幸を、お祈り申し上げます。

スパコン世界一奪還へ

三商会計人会副会長「事務局担当」
第二十二期 荻野弘康

***スパコンが進化しても主役は人間である

平成二十五年四月に行われた将棋のプロ棋士とコンピュータとの戦いは、二勝三敗でプロ棋士が破れた。現役の五段、六段のプロ棋士（A級棋士）で、タイトル保持者ではないが、コンピュータの進化には著しいものがある。

何業でも、どんな職業でも、業務関連のツールが進歩することは、業務改善だけでなく、科学、化学の飛躍的な進化に貢献している。

***スパコン世界一奪還へ

文部科学省は二〇一四年春から、世界最高性能の次世代スーパーコンピュータの開発に着手するという。十一年に世界一の計算速度を達成した理化学研究所のスパコン「京」を百倍ほど上回り、二十年

頃の稼働を目指すという。／京は毎秒一京（一兆の一万亿）回の計算能力を持つ。日本のランキングは現在世界三位である。

スパコンをはじめ、科学の進化は、ノーベル科学賞を受賞した山中教授（iPS細胞）の活用をはじめ、人類にとつて大変有り難いことであるが、主役、リーダーは人間であるということを決して忘れてはならないのである。

「コンピュータは正確に間違える。」——宮沢喜一元総理——という適切な言葉があるが、みずほ証券の一円事件（桁違い入力によるミス——五百数十億円損失が発生した）、正にその通りである。このような巨額なミスは、ソロバンパチパチの時代にはなかったことである。

***CIA元職員が内部告発

——悪用に注意／監視

何年も何度もコンピュータ利用（ATM）による振り込め詐欺事件など起きていたが、ツールの進化は悪人、ドロボーにとつてもとても便利なのである。

最近、年配者の巨額支出については、金融機関でも使用目的等を丁寧に聞いているが、「郵便局長の通報と警察の連携により犯人逮捕ができた事例あり」時代対応の安全、防護も工夫していかなければならないのである。

紀伊國屋書店の電子書籍の二十万部超といわれる印税不払いのダウンロード等々ツール悪用の事件は後を絶たない。

折柄、米国のCIA元職員の内部告発事件が報道され、世界的に情報の収集目的的確、適正な利用状況と管理システムも含めて根拠からの見直しが迫られていると考えられる。

我が国でも「共通番号制度」が、二〇一六年一月より、実用化に向けて実施されるが、憲法の理念を厳守し、国民の基本的な人権等を尊重し、目的外の利用（悪用）には厳罰を課すべきである。

また、厳正、公正な第三者委員会を併置し、運用状況について適時、国民に開示すべきであると考え

裁判員を体験して



第二十八期
田端 彰

平成二十一年五月二十一日 裁判員制度が始まってから四年。本来制度は、施行三年での見直し規定を設けているはずだが経過報告が殆どない。そんな矢先の今年三月の福島での死刑判決による裁判員のストレス障害が発生し、やっと裁判員制度の話題が久しぶりに出た。

裁判員制度は個別の刑事事件について、国民から選ばれた六人の裁判員が裁判に参加して、三人の裁判官とともに被告人が有罪か無罪か、有罪の場合どのような刑にするのかを決める制度で国民の視点、感覚が反映されると同時に裁判全体に対する国民の理解が深まり、裁判がより身近に感じられ、司法への信頼が高まって行くことが期待される制度です。

裁判員の選び方は前年秋に選挙権のある人の中から、翌年の裁判員候補者となる人を毎年くじで選び、候補者名簿を作成し前年十一月ごろ候補者への通知・調査票が送付され、明らかに裁判員になることができない人や一年を通じて辞退事由が認められる人を調査し、そして事件ごとにくじで五〇人、一〇〇人候補者が選ばれ選任手続期日の六、八週間前に選任手続期日のお知らせ・質問票が送付され、指定された日時に裁判所へ行き、裁判所で最終的にその事件の裁判員六名をくじで決定する。一年間で裁判員になる確率は六千人に一人、一生のうちで一二〇人に一人ぐらいと言われています。裁判員になるにはくじで三回当たるといふことです。

私は平成二十二年十一月に平成二十三年の候補者



裁判員裁判用 법정（釧路地方裁判所）

名簿に記載されたとの知らせがあり、選任手続期日の二十四年二月二十四日にくじで五十名から選ばれた。くじなので誰でも出来る。一般人の意見を言えばよいと考え気が楽になり、手続及び審理・判決と六日間参加し、審議・評議をした。同年六月には施行後三年経過したので東京地方裁判所が主催した裁判員経験者の意見交換会（八名）に参加した。（詳細はインターネットの検索サイトで裁判員裁判意見交換会・平成二十四年六月十二日を検索して

下さい。）

裁判員制度についてはアンケート調査でも制度に参加して九十五%以上おおむね良かったとの意見であるが、私なりに問題点を考えてみる。

・守秘義務について

裁判員法では経験者に守秘義務を課して違反すると「六月以下の懲役または五〇万円以下の罰金に処する。」とあるので裁判員を経験したとの話が殆ど聞かれない。守秘義務の範囲はきちんと決まっているのでもう少し自由な意見表明ができるよう、自分の周囲にもこんな人が経験した、それなら自分もできる、より制度が身近かに感じられる、あまり守秘義務を強く出さない方がよいのではないか。まだ罰則違反の適用例はない。

・死刑判決について

今年四月末までに検察は被告二十四人に死刑を求刑うち十七人の死刑を言い渡している。多数決で決めているが全員一致制を導入するとか死刑については専門委員会を作って決めるべきで、極限の選択を何も知識のない市民がくだせるのか疑問である。

・職免制度について

職場で働く人が有休休暇で参加することだ。貴重な有休休暇を強制的に裁判員に選ばれたのに使わざるを得ないのは納得できない。ぜひ職免制度を設けてほしい。

・裁判員のケア体制について

福島での死刑判決によるストレス障害が発生したが、裁判員を努めた後の障害等に関して充分なメンタルヘルスサポート体制がなされていない。ケア体制の充実を望む。裁判終了後も一期一会ではないがくじで偶然会うことになった裁判官と裁判員が話し合う機会をぜひ裁判所側から話をして頂いて設けるべきで、少しでも心のケアにも役立つことと思う。

・裁判員を拒否できる制度

法律等で認められた事情がある場合に限り辞退できるが、仕事の都合で経済的不利益が生じる恐れがあるとか個人の趣味（例えば出演する音楽の演奏会や演劇等）も考慮して、より辞退理由を広げてほしい。

・教育機関の授業について

当然現在の制度が続くのであれば二十歳になれば全員裁判員裁判制度の可能性があるので、より教育現場で裁判員裁判についての教育を選挙権のように教育して頂きたい。

・くじ抽選について

事前に性別・年齢別に分けて均等に選ぶべきで、一方的に片寄るのではより幅広い意見を求めにくいのではないかと思う。
より誰もが参加できる裁判員制度の早急なる見直しを求めたい。



※参考資料『よくわかる裁判員制度Q&A』

(最高裁判所・刊)

卒業文集復刻版を発行する!

第二十八期 吉野和敏

卒業から半世紀、よくまあ復刻したものです。思い出せば、昨年春(平成二十四年四月)「お江戸さんぽ塾(江戸の歴史と、学生時代を楽しむミニクラス会)」で増田(旧姓手塚)さんが、ガリ版刷りの懐かしい文集(三四郎三年四組)を持参しました。思わず、皆が「懐かしい!」と、手に取り昔を語り始めました。と同時に、「なくした」「引越してどこにあるかわからない」等々で、出来たら復刻出来ないだろうか、の声です。そこは四組、斉藤先生の教え子です。人の難渋は我が身に替えて、と宝田君がパソコンでの原稿作成を買って出してくれました。

そして、約十ヶ月、文字のかすれ、挿絵をイラストに等々、苦勞しながら百五十頁の復刻文集原稿が完成しました。頒布価格を一・五千元に設定しましたので、印刷は公共施設のコピーを、裁断は吉田印刷に、など知恵を出して当初の目論見通り作ることが出来ました。

希望者には頒布して、大いに喜ばれました。文集万歳、四組万歳です。「文集を語る」集いを開催して、また笑いにふけりたいと思います。十八歳の若者も古希を迎えましたが、文集はあの時のままの青春です。

復刻文集に携わった皆さん有難うございました。



自給自足のために

第二十九期 亀田光昭

昭和三十七年(一九六二年)に母校都立三商を卒業して五十一年。東京理科大学(理学部化学科)に進んだこともあり、この五十一年のほとんどを科学技術の世界で過ごしております。その関係もあって現在ある財団法人で、大学で生まれた研究成果の中から実用化が可能なものを見つけ出し、少しの加工を研究者とともに加えて、一般企業において製品として実用化してもらおう、橋渡しの役目を担っております。

その中で今日強い思い入れをもってその実用化を計ろうと取り組んでおります一つを紹介させていただきます。

二〇一一年三月十一日の東日本大震災とその津波による福島第一原発の事故で、我国の原子力による発電が一ヶ所を除き全くメドの立たない状況が生じてしまいました。その補完のため多くの火力発電所がフル稼働を求められておりますが、これにも燃料輸入にともなう負担増と、化石燃料使用にともなうCO₂の排出増が、大きくその前途にのしかかって来ております。

それらの解決策として時の菅政権は、自然エネルギーの大幅活用を勧めるべく、太陽光(四二円)、風力(二二円)、水力(二四円)等により作られた電力を電力各社が高価で買取る事を法律で義務付けました。(現在火力なら一〇円で作れる)その結果、昨平成二十四年度は全国各地でのための新エネルギー販売組織が発足し、官民あげてそのための設備構築に走る事になりました。その中でも最高値での買取りが、向こう二十年に渡り約束されている太陽光発電所は、「スーパーソーラー」の名のもとに全国各地に作られて、そのあまりのことに現政権はその買取価格を一KW四二円から一割減の三七・二円に値下げせざるを得ない状況まで生まれておりま

す。

自然エネルギーの有効活用は決して悪いことではないし、むしろ将来を考える時、大いに奨励していかるべきと考えます。しかしそれとて、もう少し広い視野で、その有効性を検証する事があってしかるべきではないかと思っております。その時、今日この「スーパーソーラー」が普及する事の中に、我が国がこの後破るであろう大問題に対する大きな負担を見た時、我々はとんでもない方向に走っている事に気付き、戦慄をさえ感じております。

スーパーソーラーの多くが、いわゆる遊休農地と称されている農地の有効利用として、不動産業者に借用され、そこにスーパーソーラーのメーカーを始め、ソフトバンク等の一流企業が、「原発の代替として」の使命感を持って、その普及を推し進めております。そしてその底辺には、我国の専業農家の平均年齢六五・八歳、そして後継者不足も大きく影響している事は自明です。

今日、世界の人口は七〇億人。二〇五〇年には百億人にも言われております。この地球は、もともと種としての人類に与える食糧（エサ）は大自然ベースでは十億人分しかないので。この大自然の摂理から人類はその個体数は十億人を超える事はなかったのです。しかし、一七六〇年代に始まった産業革命の後、科学技術はこの大自然のルールを人という種は破って、ついに今日多くの種を絶滅に追いやるなどして、この地球にその住み家を広げ、そのエサの範囲を「調理」の名のもとに拡大し続け、今日七十億人という、とんでもない数になっております。

今日我国は、その食料の自給が四十%代前半であるにもかかわらず、飽食の時代として、よほどの事例を除いては日々飢える事なく、より美味なるものを求めている人々が、国民の大部分となっております。それは、米を除いた多くの主食類は外国からの輸入をもつて賄ってもらっております。この現状は、このまま永久に続くことが可能なのでしょうか。

私はあと十年たつたら中国は日本に食料を輸出しない、いや、出来なくなると考えます。今日、中国

ではその人口の一〇%（一・三億人）が日本人なみの生活をしてはいますが、残る九〇%の人々は従来通りの生活を強いられ、聞いています。多くの国民はこの貧富の差を不満に思っています。その矛先をかわすため政府は尖閣問題など、対外強硬姿勢を作り出しているやにも聞いておりますが、同時に中国政府は向こう十年であと一〇%、今日の富裕者と同じレベルの人々を増やす事をも政策として打ち出しています。今でも築地の最高値のマグロは上海、香港に買われている状況です。あと一〇%、一億三〇〇〇万人は我国の総人口一億二六〇〇万人よりも多くの人々が、日本人並の食生活を求めた時、中国が日本に食料を輸出できるとは到底思えません。加えてアフリカ諸国も、その人口増と社会の安定志向を考える時、今日の様に我国に食料を輸出してくれるとは思えません。

そんな時、自然エネルギーのお題目のもとに、次々に農地を農地でなくして良いのでしょうか。誰もが知つての通り農地は一旦、農業生産をやめたら、もとに戻すのに畑で五、六年、田で十、十五年かかります。十年先に世界が食物を売ってくれなくなつてからでは手遅れです。

私は、今、この自然エネルギーを利用する事と農作物の効率の良い生産方式の組み合わせを、ある大学の研究室とともに確立し、その成果を企業に紹介し、その実証実験段階を始めるところです。日本にはすぐれた農業技術が沢山あります。日本の農業を学びヒントにしたオランダは今日、九州と同じ国土で世界第二位（七七三億ドル）の農作物輸出大国です。ほんの二十年ほど前に日本の広島のある農園のカイワレ大根の栽培法に学んだ方式が発点と聞いております。世界五十一位の日本はその二十四分の一の三十二億ドルの輸出しか出来ていません。日本の科学と農業の技術と企業の経営方式をもつてすれば、オランダに追いつく事は決して夢ではありません。もうしばらくこの世界に住み、何か出来る事で社会貢献を目指してみようと思っております。

八十期

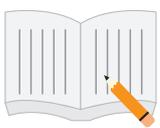
第八十期 安藤 沙也香

三商を卒業してあつという間に三ヶ月が経ちました。街中で高校生を見ると楽しかった高校生活を思い出し、一年前に戻りたいなど思ってしまうことがあります。三商で過ごした三年間は、私にとつてはとても大切な時間でした。多くの仲間と出会い、たくさんの思い出を作ることができました。それらの思い出は、今の私を支えてくれています。特に資格取得に向けて勉強したことは一番の思い出です。

私は高校生活で、多くの資格試験に挑戦してきました。商業科目の簿記や電卓をはじめ、英語や漢字などの検定も受験しました。友達と問題を出し合ったり、分からないところを教え合ったりして勉強を進めていきました。時には勉強するのが嫌になり、目標を見失いかけてしまうこともありましたが、友達も頑張っていると思うとやる気も出て、逃げ出さずに勉強をすることができました。その結果、多くの資格を取得することができました。また、友達とより仲良くなることができました。そして、この思い出は今の私の心を支えてくれています。

私は今、税務の仕事に携わっています。税務の基礎は簿記なので今まで勉強してきた内容が役に立っています。時には難しい事もあったり、思い通りに仕事が進まなかったりして辛く苦しいこともありますが、友達も仕事や勉強を頑張っていると思うと、自分も頑張らなくてはという気持ちが湧いてきます。

思い出と友達に支えられながら、これからも頑張つて生きたいと思えます。そしてこれからも高校生の時と変わらず、楽しい思い出を沢山作っていきます。





三商19期有志旅行同好会 平成25年6月8日 於 エクシブ初島

氷園旅行会 初島クラブ 旅行記

第十九期 岡野 静夫

今回三商十九期生の集い大関会の有志による氷園旅行会で、幹事勝亦氏のお世話でオーナーメンバーの木村滋男氏の紹介により、豪華リゾートクラブ熱海の初島エキシブクラブへ出かけた。(氷園の名の由来は、五月十八日急逝された竹内巳喜男氏の軽井沢の別荘の名による)

六月七日(金)東京発七名、途中参加四名、快速アクティイーに乗車、一路熱海に向かう。小生は横浜で途中乗車、先頭一号車平日の下りで幹事の読みどおり車内も空いており、座席も確保されており無事合流できた。ちょうど昼時でもあり。車内で小宴会も始まっていた。

途中事故の影響で、二十分程遅れ心配を掛けたが、藤沢で青木氏、小田原で森氏も無事合流、熱海駅に一時半過ぎに到着、タクシーに分乗、熱海港に向かった。

熱海港では木村氏が一人先着、乗船券等諸々の手配を済ませ我々を待ってくれていた。ここで総勢十六名が合流、(急逝された竹内氏、急病の小西氏の欠けたのが残念)早速、富士急マリンの高速船に乗船、初島港に向かう、やや風があり波も高かったが、快晴で気持ち良い二十五分の船旅であった。

港から迎えるエキシブクラブのバスに乗り、約五分、三時前ホテルに到着した。

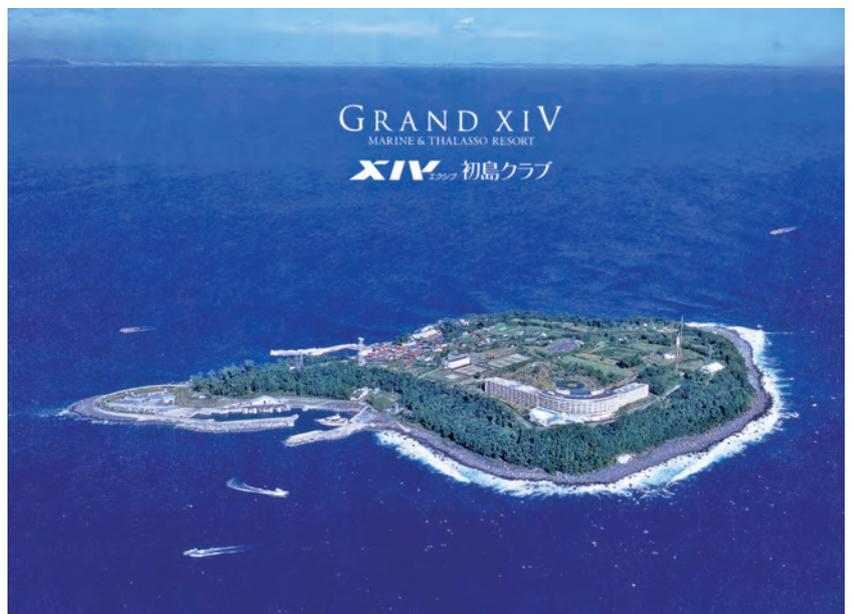
木村氏の先導で、チェックインを済ませ、オーナーズレセプションルームに集合、部屋割り(予めクジ引きで決定)、今後の予定など確認、各自部屋に入った。

さすがオーナーズメンバーの紹介だけに宿泊施設の最上階七階で部屋も広く、設備も充実、ベランダからは、熱海、伊東、川奈、大室山、小室山、天城山等の山並み、目を転ずれば大島、利島、と素晴らしい展望が開けていた。

一服後、八階の展望温泉大浴場で景色を愛でながら、旅の疲れを癒した。宴会は六時からと云うことで、それまで各自自由時間、小生はホテル前の庭を散策した。

宴会では、開宴に先立ち幹事の発声で乾杯と、亡くなられた竹内氏の冥福を祈り献杯した。料理は海鮮素材中心の和懐石で評判どりの美味、アルコールも飲み放題、わいわい、がやがや賑やかに楽しかった。

八時過ぎにお開きとなり、部屋に戻ったが、小生暫らくしてボタンキユウ寝込んでしまい、翌朝四時過ぎまで爆睡してしまった。



朝目覚めると、同室の青木氏が昨夜あれから幹事部屋で十時過ぎまで二次会があり、再び飲んだが、小生を起こしに来たものの、良く寝込んでいたので起こさなかつたとの事。昼間も飲んでおり、傘寿を迎えた仲間諸兄の元気な事に驚きました。

展望浴場で朝風呂に入り、気分爽快、朝食前の小一時間、青木氏と前庭、パターゴルフ場、テニスコート、スポーツフィールド等の付帯ゾーンを軽く散策、朝の新鮮な空気に浸った。

八時から朝食、一階の初海で、これまた海鮮素材の立派な和定食、ビール、お酒で軽く迎い酒の後、美味しく頂いた。若干メタボの小生、いつも朝、昼、は軽く済ましているのですが、この二日間のアルコールと美食で体重が一キロ増えたのではないかと心配になった。

朝食後、出発まで自由時間、小生はカロリーを減

らすべく？森氏と共にスポーツゾーンから、サイクリングコースを抜け、初島灯台、初島公園から初島港の上の畑を経由、ホテルへと、初島の東半分を大島、三浦半島、真鶴岬等、展望しながら、軽くウォーキングした。(約一時間、五二〇〇歩、四キロ弱) 細田氏は、大島、利島、伊豆半島方面の展望を楽しみながら西半分を廻ったとの事、他の諸兄も夫々、散策を楽しんだようだ。

十時半には全員ホテルに帰り、ロビーで歓談、土産物を物色したりしていたが、時間に余裕があるので、予定より一時間早い十一時二十分の船に乗ることに決定、送迎バスで初島港に向かった。森氏が若い？おばさん達と、他のバスに乗って第二漁港へいってしまおうハプニングがありました。途中から歩いて来られ、無事に合いました。

高速船は定時出航、海上は天気も良く、波静か、展望も良かったが、伊豆、箱根連山に黒雲が発生しており、熱海港に着く前、小雨にみまわれたが、たいたこともなく済んだ。下船後、都合よくバスがあり、小生ほか十二名熱海駅に向かう。藤井、森、青木、の諸氏は木村氏の高級車に同乗、送られることになった。

バス組が熱海駅に着くと、これまた都合よく、十二時〇三分発の快速アクティーがあり、急いで乗車、席を確保し、電車が動き出したが、増田、中村の両氏が見当たらない。乗り遅れたのではないかと心配し、細田氏が探して呉れたりしたが、次の湯河原駅で合流出来、ほっとした。

小生は藤沢駅で下車、小田急経由で帰宅したが、他の諸兄も車内歓談しながら、夫々無事帰宅したとのこと。

若干のハプニングはあったものの、天気に恵まれ、豪華なホテルで、美味しい料理を満喫、素晴らしい楽しい一泊二日の旅であった。

かえすがえすも竹内氏の急逝がおしまれる、ご冥福を祈りたい。お世話頂いた幹事の勝亦さん、藤井さん、そして木村さん、有難うございました。この秋には、式年遷宮を迎える伊勢神宮参拝、伊勢志摩観光を予定しているとの事、楽しみにしております。



第三十三期卒 佐久間 保人(剣道部)

三十三期同期生を中心とした「パンサイ三商」と言う掲示板があります。もう九年前になるのですがそこに投稿したものを要約して転載します。

まずは、左の地図をご覧ください。琵琶湖に次ぐ



湖、霞ヶ浦です。わたしの住んでいる牛久市からはほんのわずかです。今日、同期生剣道部奥山さん(アダ名 文豪)とこの霞ヶ浦を一周してきました。タイトルとこの地図を見て剣道部や書道部のみなさんはおもうお解りになると思います。麻生町へ行ってください。

事のはじまりは「女房に捨てられた」

今朝十時頃、松戸に住む奥山さんに電話しました。

「あのさーなにしてんの」

奥山「かみさんは、朝早く出て行ったし、娘二人はバイト なーつもすることないの」

佐久間「うちも同じ、うちのも朝早く出て行って、朝飯はトマトジュースだけ！昼飯食いにこない？それまでに今日の過ごし方考えておくからさ！」

九十五才の義母もショートステイに行っていますから、うちのかみさんが帰ってくる夕方まで私も「なーつもすることないの」

そうだ！あの暑い夏の日を思い出した！！

二人で、牛久の名店蕎麦屋「梧桐 あおぎり」で生粉打ち蕎麦を食べながら考えたのは、麻生町のあの合宿跡を訪ねることです。ここからなら一時間着くでしょうし、奥山文豪の創作活動の取材にもなる有意義な一日なことは間違いありません。そんなわけで一時過ぎに奥山さんの愛車イストで牛久を出発しました。

合宿は先輩の暖かい好意で・・・

剣道部の合宿はまず、募金集めから始まります。合宿へのカンパをお願いするはがきを送り、夏休みが入るとすぐに剣道部先輩のお宅にお伺いします。当時はいくらだったんでしょう。自家営業の先輩が多いくらっしゃった関係でカンパは比較的順調でした。遠くの先輩は、送金して頂きました。こんな管理をやっていたのは剣道部の誰なんでしょう。奥山君はこんなことできないし、小林君はそんなに部活に熱心でなかったし、もちろん私も記憶にありません。やるとしたら同期では浅見さんだけですね。と



屋さんなら、次の蕎麦屋を右に曲がったところ……この大きな通り沿いだっと思ったけど、右に曲がると「オウオウ、昭和の建物だ」「この古い店で……聞けば……」店主は暇のようで「柏屋さんはこの向かいだよ。いまはもうないけど……」「門は昔のままだね」なんて言いながら案内してくれます。いよいよ見つけました。柏屋旅館の四十年後です。

残っていたのはこの門だけです。なんか記憶があります。この門の向こうに母屋で、その向こうに三間続いた平屋の部屋が合宿所でした。さて柏屋のその後は、このあと衝撃的な出会いが……

柏屋旅館 ゆかりの人と……
 さてついに麻生町で、あの夏の合宿旅館「柏屋」を探し出した「初老探偵団 奥山・佐久間」ですが、記憶の底にかすかに残っている「柏屋」の門。その奥へと……もちろんあの平屋作りの旅館は跡形もありません。ちょうど私達が過ごした三間続きの建物跡には大きな二階屋が建っています。そこにはお年寄り三人が立ち話をしています。

「奥山文豪とあの頃訪ねる」「あの夏 あの合宿」はこれでおしまいです。実を言うともう一つ行って見たい場所があったんですが……あの移転してしまっただ麻生高校の跡は「麻生小学校」になってい

おばあちゃんが……
 この右側のおばあちゃんは柏屋旅館の前で駄菓子屋をやっていたそうです。よく三商生にはかき水を買って貰っていたそうです。奥ちゃんの後ろのお二人が柏屋旅館の子孫の方です。三商生の合宿のことは大変よく覚えていらつしやいます。

「そうだなあ あの頃はあ 剣道部や書道部のみんなが来てくれてたなあ」「古暮先生も亡くなったらしいねえ」ご主人は以外と最近の情報も持ちちのようです。「そう みんなが来てくれたのは ちょうど今頃の季節だったなあ」「この三人もあの頃の暑い夏を思い出しているようです。



「失礼します こちらの方ですか？ 柏屋旅館がありましたよね 私達 高校生剣道部の合宿で四十年前にこちらでお世話になったんです」「なんだあ おめえたちい 三商生かあ」尻上がり茨城弁で。

るそうです。柏屋の方に聞くと、昔の面影が少し残っているようです。いまでもきつとあそこには木造の武道場と大きな道場が残っている気がするんです。そして あそこに行けば あの頃の少年剣士達の声と あの竹刀の音が 耳の底から 出てくるはずです。ちよっとオーバーなのですが、同期のみんなとあの合宿を乗り切ったからこそ、その後の辛い人生を乗り越えられたって感じがするんです。

「奥山文豪」がよくおっしゃっていますが「思い出はそっとして置くもんだ」と……でも「あの夏の合宿」は思い出せば 元気になると思いませんか？

あれから四十年後 二〇〇四年夏 と
 二〇一三年夏の私たち

三商同窓会報第五十二号

平成二十五年七月一日発行

発行者
 東京都立第三商業高等学校同窓会

発行責任者
 三商同窓会 情報委員会

編集者
 東京都墨田区業平一の一七の五
 都立三商同窓会事務局
 杉本 光 男

電話 〇三(三六二三) 二一八五
 FAX 〇三(三六二三) 一八五九

印刷所
 日本原色印刷工業株式会社

東京魚市場 三水会

三商で学んだ商人道を基に営業しております。

会 長	藤枝 精治 (24期)	幹 事	土方 敏之 (29期)
副会長	鬼澤 好男 (25期)	〃	宇田川武志 (31期)
会 計	加藤 晋一 (28期)	〃	中村 一好 (32期)

[三水会の歴史]

昭和25(1950)年発足

40(1965)年10月17日第一ホテルにて創立15周年開催

45(1970)年10月18日椿山荘にて創立20周年開催

55(1980)年9月27日東京會館にて創立30周年開催

平成 2(1990)年10月20日 ホテルメトロポリタンにて創立40周年開催

12(2000)年 スエヒロにて創立50周年開催

22(2010)年 インターコンチネンタル東京ベイにて創立60周年開催

18期 北原 郁夫	25期 鬼沢 好男(伊勢由)	29期 土方 敏之(土方)
19期 桐ヶ谷正保(☺尾清)	26期 渡辺 照雄(渡福)	31期 宇田川武志(金)宇田川)
23期 井上 武久(て良)	27期 伊藤 隆悠(西保)	32期 中村 一好(増分)
24期 加藤 守宏(加藤)	28期 加藤 晋一(佃亀新)	49期 宇田川浩一(平井支店)
24期 藤枝 精治(尾藤)	28期 谷島 隆	

生活空間応援します!!

不動産に関することなら
どんなことでもご相談ください!!
心豊かな暮らしをトータルサポートします!!

TEL: 5628-1511
FAX: 3636-2292



(公社)東京都宅地建物取引業協会会員 東京都知事免許(12)第26577号



大雄開発株式会社

〒136-0072 江東区大島1-29-6 アプローチ西大島101

代表取締役 松岡雄治(第26期)

物件情報満載HP 売買情報<http://www.daiyukk.co.jp> 賃貸情報<http://www.daiyukk.com>

ご希望に合った『新着物件情報』・『オープンハウス情報』など掲載中です!!

創業 文久年間

素材の良さと
伝統の味を
守り続ける老舗

創業文久三年



割烹 によだ

東京都中央区日本橋室町

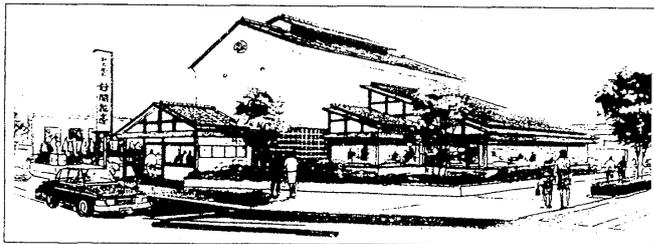
1-12-3

電話 03-3241-1025

(日・祝日休み)

橋本 敬(20期)

<http://www.n-toyoda.com>



ペーカリーレストランマルコ	3656-5211
MARUKO	3656-5629
しゃぶテキ亭	5677-0101
春江店	3689-0101
葛西店	3677-8601
柴又街道 花炎亭	

昭和 36 年卒 28 期生
代表取締役 田中 稔

当店では、ご宴会・ご会合・法事や各種
パーティー等人数・ご予算に応じて承っ
ております。

営業時間 AM11:00~PM11:00

お食事処  **開花亭** 葛西店



各種ご宴会・ケータリング・ご宿泊・ご婚礼に。

船橋市災害時帰宅困難者支援施設

船橋グランドホテル

273-0005 船橋市本町7丁目11番地1号 JR船橋駅徒歩3分・駐車場80台完備

TEL 047-425-1121

www.funa-gh.co.jp

船橋グランドホテル



江戸蕎麦手打處

江戸時代より続く
伝統のわざと味

(第二八期) 粕谷 安孝

二階椅子席二〇名、椅子席一〇名にて
クラス会等にご利用頂いております

コース料理、鴨なべ、鳥すき等
揃えてお待ちしております

定休日 日曜日

台東区浅草橋二・二九・十一

江戸通り浅草橋と蔵前の中程

電話 〇三(三八五) 五四一

あさだHP <http://www.asada-soba.co.jp>

そばの里 みっまた

住所/130-0022
東京都墨田区江東橋
4-20-4
TEL/03-3631-5850
定休日:土曜及び祝日です

河西紀道
(第25期)

手打蕎麦



どじょうすくい踊り教室

読売テレビ文化センター錦糸町 (第1&3日曜日)
10:00~11:30
朝日カルチャーセンター千葉 (第2&4日曜日)
13:00~14:30

講師 後藤省三 (28期)



安来節保存会 踊師範 (大根支部)
〒272-0033 千葉県市川市市川南1-1-8-808
TEL&FAX 047-321-0786

医療法人社団 飯ヶ谷内科クリニック

理事長 飯ヶ谷清
医学博士
(第22期)

千葉県鎌ヶ谷市東道野辺5-19-15

TEL 047(445)8881

魚河岸

海老・貝仲卸

土方商店

土方敏之 (第29期)

〒104-0045 東京都中央区築地5-2-1
電話&FAX 03(3541)8408

中小企業、納税者の権利拡充に努めます。
税理士法人 荻野会計事務所
代表社員 荻野弘康 (第二十二期)

東京都荒川区南千住五-二五-一四
〒一一六-〇〇〇三
TEL:〇三-三三八〇三-二三二八
FAX:〇三-三三八〇五-二〇六九
MAIL:zei_ogi@d3.dion.ne.jp

～同級生からのコメント～

昭和29年10月第1回全国高等学校簿記コンクール
に出場団体戦優勝都立三商(荻野・西脇・中川)
個人の部優勝(荻野弘康)

有限会社 大石商会

リサイクルショップ
てるてるぼうず

取締役 大石傑一郎
会長
(23期珠算部)

曳舟本店 〒131-0032 東京都墨田区東向島2-14-1
メゾンド大石1F ☎3616-2434(代)
東向島店 〒131-0031 東京都墨田区墨田1-15-15(ワグザワ1F)
☎3616-2430
自宅 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-28-5 蔵前大石ビル4F
☎3861-0084 FAX 3861-0067

トステム・YKK・不二サッシ
ラス・アルミサッシ・スチールドア工事
都知事許可(般-13)第36530号



今村ガラス

(第22期) 今村輝男

〒110-0012 東京都台東区竜泉3丁目9番7号
TEL 03(3873)5927(代)
FAX 03(3873)6369

フットウェア製造卸

丸喜株式会社

20期



代表取締役会長

河原 啓介

本 社

〒111-0032 東京都台東区浅草6-4-12
Phone:03-3876-1751 Fax:03-3875-6168
<http://www.maruki-net.com>
E-mail:k-kawahara@maruki-net.com

梱包・輸送・倉庫業

日祥梱包倉庫株式会社

代表取締役 有坂 祥一 (第22期)

移転先 〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸1-9-8-410
TEL・FAX 0466-22-0851
勤務先 日祥梱包倉庫株
神奈川県藤沢市遠藤4651
TEL 0466-48-5641 FAX 0466-48-8533
<http://www.nisshokonpo.com> E-mail: info@nisshokonpo



細田木材工業株式会社

代表取締役会長

細田 安治 (19期)

合法木材供給
事業者認定
[輸入協-037]

〒136-0082
東京都江東区新木場
2-5-3

TEL 03-3521-8701 (代) FAX 03-3521-8708
e-mail:ceo@woody-art-hosoda.co.jp
<http://www.woody-art-hosoda.co.jp/>

おしゃれエプロンメーカー

有限会社 篠崎

取締役会長 篠崎 清 (第22期)

〒272-0021 市川市八幡4-17-33
TEL047-334-5027 Fax047-334-5432

有限会社 みのる不動産

公益社団法人東京都宅地建物取引業協会会員

代表取締役 三川 廣志
(第34期)

■亀戸店 東京都江東区亀戸7丁目11番12号京葉道路面
TEL (3684) 5851(代) FAX (3684) 5850
E-mail:mk@e-minoru.com

■本店 東京都江東区北砂7丁目4番3号環状四号面
TEL (3644) 7573(代) FAX (3640) 2543



株式会社 杉本好二商店

代表取締役 杉本 光男
第26期 (卓球部)

〒130-0002 東京都墨田区業平1-17-5
TEL 03-3623-2185
FAX 03-3623-1859

砂利・砂・セメント・碎石
生コンクリート・アスファルト 販売店



株式会社 早川商会

取締役会長 早川 嘉一
第26期 (卓球部)

〒123-0873 東京都足立区扇1-45-22
TEL 03-3898-3336・6996
FAX 03-3889-6909
hayakawa-s@tokyo.email.ne.jp

紐付巾着袋・フィンバッグ・手提バッグ
特殊製袋加工・印刷 テープハンドルバッグ・LD丸底袋
LDジャケット袋・ファイル用袋各種

『両国の駅のおそばの大関庵
味も良ければ盛りもよいよい』

そば処 大関庵

19期 大関 守

JR両国駅西口
国技館通り中程 TEL.03-3631-0728

税 理 士
社会保険労務士
行 政 書 士

石川 昭 (昭和33年卒)

石川昭税理士事務所
石川社会保険労務士事務所
行政書士 石川昭事務所

〒224-0001 横浜市都筑区中川1-18-11皆川ビル4階
TEL 045-911-5454 FAX045-911-5396
Eメール akira-ishikawa@tkcnf.or.jp
自宅 都筑区中川1-2 A801 TEL045-912-5056

代表取締役 小野 雄久
(第二六期)

事務所
東京都江戸川区平井七丁目二番二十九号
電話〇三(三六)七四一一(代)〇二番
FAX〇三(三六)七四一一(代)〇二番
〒132-0035
東京都江戸川区平井七丁目七十二番一
電話〇三(三六)〇五〇四番

小野生コン製造販売
日本工業規格表示認定工場
小野建材工業株式会社

表 具 処



創業天保年間

経新堂 稲崎

五代目店主 稲崎 棟史 (第22期)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目48番7号
TEL: 03-3666-6494
FAX: 03-3666-6989
http://www.kyoushindo.com
E-mail: info@kyoushindo.com

「人間と植物の共生社会」の実現を目指して

(社) 日本インドアグリーン協会員
東京グリーンサービス事業協同組合員

サンキグリーン産業株式会社

園芸装飾技能士
代表取締役 亀田 八千代 (第31期)

〒135-0024 東京都江東区清澄 2-15-5
TEL:03-3642-8714 FAX:03-3643-8732
E-mail : yachiyo715@shore.ocn.ne.jp

第十五期 同期生一同



世話人一同
(塚越 泰一)

公認 不動産コンサルティングマスター 西 邨 昭 一 (第31期)

一般社団法人 千葉県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会千葉本部
専任相談員

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-17-3 (千葉県不動産会館)
TEL : 043-241-6671 FAX : 043-245-0866

(自宅)
〒279-0042 浦安市東野2-6-1
TEL : 047-353-0932 FAX : 047-353-4533

専務取締役
株式会社 **エイケン**
今 泉

本社
〒271-0621
千葉県船橋市米ヶ崎町七二九番地
TEL 〇四七(四二二)〇二二番
FAX 〇四七(四二二)〇二二番
携帯 〇九〇一三二八(六四七七)

清 (31期)

創業明治四〇年 下町の味を伝えて一世紀
うなぎ
川 勇

高木 利夫 (第三十三期)
元史学部

〒130-0011
東京都墨田区石原三三〇九
TEL 〇三(三六)二二五九二
FAX 〇三(三六)二二五九二
E-mail: nagiya@com.home.ne.jp

旨い 安い
下関ふぐ地鶏ちゃん
鳥 義
30期 氏家 賢

本館/墨田区石原3-17-3-101
電話 03-3626-4466
別館/墨田区石原3-17-3
電話 03-3622-8343
FAX 03-3622-8349
http://e-sumaida.gr.jp/toriyosi/

(第21期) 平林 慶雄
03(3644)4487

有限会社 **平林油店**
(JX日鉱・日石エネルギーエネオス特約店)

南砂給油所
江東区南砂3-4-5
宇喜田給油所
江戸川区宇喜田1223
自 宅
江東区南砂4-19-13

2015年度 豊洲新市場開場(予定)

東京都中央卸売市場 築地市場 青果部卸売人

 **東京シティ青果株式会社**

取締役会長 石川 勲 (第22期)

<東京本社>

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目2番1号
TEL 03-3549-9100 FAX 03-3549-9591

<千葉支社>

〒270-0023 千葉県松戸市八ヶ崎2丁目8番2号
TEL 047-348-2311 FAX 047-344-5590

<http://www.city-seika.com>

プロが選んだおいしいバナナです。

全国で販売中！



発売元 東京中央青果株式会社

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目2番11号
電話 03-6226-6850 FAX 03-6226-6851

代表取締役社長 石川 勲 (第22期)

<http://www.tsukiji-banana.com/>

夢をかたちに・・・



中外徽章株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2

TEL:03-3294-3431 FAX:03-3294-3436

<http://www.chugaikisyo.co.jp>

相談役 古田 勝一 (第26期)



都立三商同窓会「初」の女性会長
第7代 岩瀬 和子 同窓会長

祝 三商同窓会 80周年

「生涯青春で有り続けたい」との願いから、第26期は
毎年同期会を開催しております。

第26期 同期会会長 古田 勝一